京城日報

三日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢(郵送料前金)三ヶ月金一圓六十錢 六ヶ月金三圓 一ヶ年金五圓七十錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七十錢 ▲特別欄內一行金壹圓五十錢 ▲場所指定一行金十錢增 ▲三號活字は二行、一號活字は五號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 谷口政太郎
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用(四)五番、二四番 營業用(四)三番、一二番 六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

◎叛徒首領降服公報

公報に曰くダブリンに於ける叛徒の首領は一日悉く降服したり(倫敦電報)

▲叛徒首領の降服宣言 愛蘭に於ける叛徒首領は降服宣言を發表せり其の文に曰く今や吾人は吾人の匹敵する能はざる大軍の包圍する所となりたるを以て此の上無辜の人民の殺戮さるゝを防止せんが爲に假政府は無條件降服を爲すに決せり我共和軍各部隊の長官は其の部下をして宣敷其の部下に命じて武裝を解かしむべし(倫敦電報)

◎英國從軍兵員五百萬

倫敦來電に據れば首相アスクイス氏は下院に於て一般的應急徵兵案は三日議會に提出せらるべき事及び開戰以來英國陸海軍の爲めに努力せる人員が五百萬を超過せる事を發表せり(紐育電報)

◎袁總統の態度と協議

政府は馮國璋に遣はせる使者の樣子如何に依り近く內閣會議を開き袁總統の態度に就き最後の解決に關する協議を爲す筈なり(北京特電)

◎袁總統の親兵引渡

袁總統は愈々其の直屬たる拱衞軍を段祺瑞の手に引渡す事となれり(北京特電)

◎非島獨立案と米國下院

華盛頓來電に依れば下院委員會の形式を以て非律賓獨立法案中より四箇年內に非律賓獨立を許可すべき權利を大統領に附與すとの條項を刪除することに議決せり該議決は獨立案最後の投票に際し同條項を否決すべき前提なりと思惟せらる(紐育電報)

◎修正移民案を送來る

米國議會は珍田大使の提議に基き移民案を修正し一日國務卿ランシング氏を通じて其の修正案を珍田大使に送附し來れり(桑港電報)

◎ジョーン案の通過

米國下院は非島獨立法案の代案としてジョーン案を通過したり同案は非島に自治權の擴大を許し最後には同島に獨立を許可せんとする意志を表示したるものなるが獨立許可の日時を決定せず(華盛頓電報)

◎移民邦人勝訴

移民局は曩に中尾松太郞氏の上陸を拒絕せしが裁判の結果中尾氏勝訴の判決ありたり(桑港電報)

◎參謀副官更迭

三日各師團參謀副官の更迭ありたり內朝鮮關係者左の如し(東京特電)

補第十九師團參謀 陸軍步兵中佐 小出三郞
補朝鮮駐箚軍參謀 陸軍步兵少佐 松井七夫

◎石原宮內次官

石原宮內次官は三日午前四時著列車にて平壤著旅館柳屋に投宿し午前中市內及び牡丹臺其他の名所舊蹟を觀察す(平壤特電)

◎赤十字出席團

朝鮮赤十字社々員鮮人三十四名は大橋主幹引率三日朝當地著九時五十分の列車にて東上せり(門司特電)

◎總督邸午餐會

寺內總督は三日正午より入京中なる阪谷男爵一行を龍山總督別官邸に招待午餐會を催せるが總督府よりは各部長官、局長等出席したり

◎總督邸晩餐會

寺內總督は三日午後七時より聯絡運輸會議の爲め入京中なる東清鐵道側委員ルゲウキッチ、ゲシトル、ソーボレフ、支那鐵道院委員フォーレイ、陳國華、鐵道院委員大園、木下、三上、青木、南滿鐵道委員庄司の十氏を龍山別官邸に招待午餐會を開く、陪席者は井口軍司令官、總督府內各部長官、局長、大屋長官、立花師團長、主なる所屬官署長、古海警務總長、白水軍參謀長、岡本師團參謀長、森、高橋兩武官、鐵道院內主要職員等の外露國、支那兩總領事等計四十二名と註せらる

◎司法官會議

總督府にては二十日より向ふ一週間高等法院長、檢事長各覆審法院長同檢事長各地方法院長同檢事正等を本府に召集し國分司法部長官總裁の下に司法官會議を開く由

◎阪谷男一行動靜

三日午前八時五十分入京したる阪谷男爵一行は直ちに朝鮮ホテルに入り午前十時總督府に寺內總督並に各部長官を訪問し引續き不破事務官の案內にて中央試驗所を參觀午後零時半より寺內總督招待の午餐會に臨み三時昌德宮秘苑を參觀したるが午後六時半より朝鮮ホテルに於ける官民合同の歡迎會に列席し四日午前七時十分南大門驛發鮮滿直通列車にて北行すべしと

◎石原次官動靜

離宮地選定の爲め入京中なりし宮內次官石原健三氏は二日午後九時四十分發列車にて平壤に赴き同地を視察の上四日午後七時再び入京の筈

▲歸東期決定 入鮮中なる石原宮內次官一行は八日釜山經由歸任の事に決せり

◎勸銀總裁動靜

入京中の志村勸銀總裁佐伯調査課長柿內書記の三氏は三日午前十時東洋拓殖會社を訪問し樓上にて野田副總裁林井上村田各理事等と東拓各般事業に付き諸種の說明を受け十一時三十分辭去直ちに伊藤土地調査局副事務官の案內にて臨時土地調査局を訪問鈴木局長和田總務課長等より朝鮮の土地に關する取調べをなせるが午後仁川に下りたり

◎志村氏晩餐會

勸業銀行總裁志村源太郞氏は四日午後七時より朝鮮ホテルに晩餐會を開き寺內總督以下各部長官局長、所屬官署長並に銀行會社重役、實業家等數十名を招待する由

◎志村總裁發期

滯京中の志村勸銀總裁は六日午前九時十分南大門驛發にて滿洲に向け出發の豫定

◎小松原氏講演

東洋協會植民專門學校長小松原英太郞氏は二日午後四時より大和町なる同校分校に臨み在學生及び在京同窓生五十餘名を食堂に集め分校幹事兒玉伯以下職員列席の上一時間に涉りて有益なる訓話を爲したり

◎軍旗授與式

平壤及咸興、羅南 立花師團長の出張

平壤步兵第七十七聯隊に新軍旗授與の爲め立花第十九師團長は七日龍山出發八日同聯隊にて擧式、九日歸任の豫定にて岡本參謀長、山崎參謀及び副官一名隨行の筈なるが師團長は十日朝龍山發元山を經て咸興に向ひ十三日步兵第七十四聯隊、更に羅南に向ひ十八日步兵第七十三聯隊、騎兵第廿七聯隊の各隊にて軍旗授與式を擧げ直に歸途に就き廿七日午後歸龍の豫定なり

◎師團長檢閱

立花第十九師團長は三日、四日第七十八聯隊を視察五日は騎兵第三中隊野砲兵第六中隊の初視察を爲す筈

◎元山と軍隊著發

四月三十日琴平丸にて大阪を出發したる步兵第七十七聯隊第三大隊將校三十二名下士卒六百十一名並に馬匹三頭は五月三日元山入港一泊の上翌四日午後一時四十分發の汽車にて其れ〴〵出發すべく又元山守備隊陽德分遣の第十二中隊は二日陽德を出發し三日元山到著の筈(元山)

◎七七聯隊一部通過

步兵第七十七聯隊(平壤)第三大隊は四日午後十一時二十分龍山著五日午前零時五十分發任地に向ふ筈

◎田所海軍少將

佐世保海軍鎭守府參謀長田所海軍少將は既報の如く滿洲方面の視察を終へ二日夜入京巴城館一泊の上三日朝南大門發釜山に向へり

◎森軍副官榮轉

駐箚軍參謀步兵少佐森文之丞氏は今回中佐に昇進し近衞步兵第一聯隊付を命ぜらる

◎吉原總裁歸任期

馬山に病を養ひつゝある吉原東拓總裁は兩三日中に歸任の豫定なりと

◎松平東拓監事

東拓監事松平直平子は一日夜京城發大田江景古阜井邑金堤榮山浦群山木浦各地視察の爲め南下したるが六日大田に引返し同地より歸東の筈なり

◎村田理事出張

東拓理事村田俊彥氏は四日午前七時十分南大門驛發にて平北地方に出張の筈

◎小山東拓參事

東拓榮山浦出張所次席參事小山光利氏は今回同社元山出張所長に補せられ一兩日中赴任する由

◎趙子爵病氣

子爵趙重應氏は數日前より感冒に罹り引籠りの處未だ快癒に至らず尙ほ靜養中なりと

◎愛婦總會期日

愛國婦人會第十五回通常總會は二十四日東京日比谷公園に於て擧行に決せる由朝鮮本部に通牒ありたり

◎研修會例會

總督府職員研修會第九回例會は既記の如く三日午前八時より總督府第二會議室に開催寺內總督以下各部長官局長、課長高等官並に乙班に屬する判任官等二百數十名列席し小松翰長の『戰後に於ける列國の關係』と題する講演ありて午前九時閉會したり

◎農事獎勵會總會

京畿農事獎勵會にては府尹郡守會議にて各支會長の入京中を機として三日午後二時より京畿道廳內宣化堂に於て總會を開催せり

◎甲山銅山落著

買收價格三百萬圓

コールブラン氏所有の咸鏡南道甲山銅山買收の件は久原氏との間に於て久しく交涉中なりしが今回首尾能く協定を見、四日コ氏側よりはポストウヰック支配人、久原側よりは竹內支配人立會の上京城に於て調印することゝなれり其買收價格は三百萬圓なるが內百五十萬圓は即時引き渡し殘額百五十萬圓は今後鑛產量の條件付きにて引き渡す由なり

◎古阜水利認可

起工は六月中旬頃

全北古阜平野三千五百町步に五十四萬圓の巨費を投じ灌漑水利の施設を行はんとする古阜水利組合は先年全羅北道廳を經て總督府に其の設立認可を申請中なりしが五月一日附總督府より組合發起人總代北尾榮太郞大森五郞吉兩氏に認可の指令ありしを以て入京中の北尾氏は三日出發歸任直ちに發起人及び組合の總會を開き取急ぎ起工認可起債認可を當局に提出する運びに至らしむべく萬事の準備を終り其の工事を開始するは六月中旬前後ならんと

▲工費の起債 全北古阜水利組合は五月一日附設立を認可せられしが其の工費五十四萬圓は東洋拓殖會社より借入るゝ事に略協議纏まり總督府の起債認可あり次第現金の授受を行ふべし唯其の條件內容等は會社と組合當事者間に尙ほ談合中にて全部の決定を見居らずと

平壤

▲府尹郡守打合會 平安南道府尹郡守打合會は豫報の如く一日より道廳に於いて開會せられたり會期は五日間なるが三日は午後一時より農工銀行消防組女子高等普通學校慈惠病院等を見學せり▲府尹郡守招待 工藤長官は四日午後六時より來壤中の府尹郡守及び廳內判任官全部を箕陽俱樂部に招待し新任披露の宴を催すべし▲警務部長の招待 瀧澤警務部長は來壤中の府尹郡守を三日午後六時より大同館に招待し慰勞の宴を催すべし▲長官招待會 滯在中の府尹郡守及び府廳內判任官等一同は五日午後六時より妓の茶屋に道長官を招待し歡迎の宴を催すべし▲巡査部長試驗 平安南道警務部に於ては五月一日より二日間巡査部長試驗を行ひたり今回の受驗者は十七名なるが三日口述試驗を受け何れも歸任したり

咸興

▲議員補缺選擧 過般來競爭激甚なりし咸興學校組合補缺議員選擧は四月二十九日を以て行はれたるが開票の結果當選議員左の如し

三六票 望坂主税　三一票 武末昇作
二五票 竹川新太郎　二二票 土谷惟一
二二票 布留川治作　一四票 野口熊八
二一票 土岐鶴太郎　一三票 鵜飼初太郎
二一票 長谷川長威　五票 米村彌一郎
(次點者七票金光正市)

▲戶口と職業別 咸興郡內に於ける戶口數は客年十二月調査に依れば戶數二萬三千三百一人口十五萬一千六百三十七にして男七萬三千五百六十九女七萬八千六十八なり而し之れが職業別は農業十二萬三千八百六十一人商業一萬三百八人工業二千二百二人なりと

清州

▲柳道長官歸任 豫て忠北々部各郡巡閱中なりし柳忠北道長官は一日槐山より米院著の上同地山東煙草耕作組合總會及び葉煙草品評會、同模範耕作人表彰會に臨席の上同日午後六時歸任したり▲第二部長出京 佐々木忠北道第二部長は事務打合のため二日午後四時發自動車にて本府へ出張したり▲第一部長道路視察 齋藤忠北道第一部長は槐山郡會坪より清州郡梧根塲を經て鳥致院に通ずべき改修道路視察のため富田道技手を從へ三日朝出張したり▲中川軍醫出發 今回衞戍病院に榮轉したる陸軍一等軍醫中川善松氏は三日朝清州發赴任の途に就きたり▲弓術大會 二日午後四時より清州憲兵隊本部にては中川軍醫の送別を兼ね後庭に於て春季弓術大會を催したり集まるもの二十餘名何れも一騎當千の猛將揃ひにて競技は紅白の源平試合より始まりて回を重ぬる五回にて僅か三點の差にて勝を平家方に制せられ次いで點試合をなして同六時半閉會し一同別席に於て盃を擧げて中川軍醫の前途を祝福し授賞者の幸を祝しながら勇ましかりし大弓の會に潑剌たる英氣を養うて同七時半頃散會したり▲煙草組合總會 年產額三十萬貫を有する山東煙草耕作組合にては五月一日約一千名の組合員を集めて組合總會を催し理事一名の補缺選擧及び大正四年度の決算報告をなし別席に葉煙草品評會を催したるが當日の來會者六百餘名出品點數四百五十に達して盛會なり出品物に對して忠北道長官より一等以下四等迄六十餘點に夫れ〴〵賞與を授與せられ尙模範耕作人の表彰をなし茶食及び茶菓の饗をなして散會したり

天安

▲衞生組合會議 天安憲兵分隊には二日午前九時より衞生組合會議を開き大正四年度の決算報告を爲し次に大正五年度の總豫算を協議したるが左記の通り豫算決定せり尙續ひて組合長及副組合長任期滿了に付き選擧したる處組合長岡半三郞氏副組合長に小野沈相晃氏何れも再選せられたり

歲入經常部一使用料及手數料二千百十圓五十錢二寄付金七十五圓三錢臨金三百七圓二十三錢五厘四雜收入十六圓六十錢合計二千五百八圓七十三錢五厘歲出經常部一事務費百四十二圓二衞生費四百二十六圓五十錢三屠場費千二百二十七圓四寄付金四百圓五豫備費三圓二十二錢五厘合計二千百九十八圓七十三錢五厘臨時部一積立金三百十圓總計二千五百八圓七十三錢五厘

全州

▲長官新任披露宴 新任李長官は去る二十九日重立つ官民有志者團を公會堂に招き披露宴を張り餘興には淡月の浪花節を演じ校書其間を斡旋し歡談時の移るを知らざりき散會せしは滿發の頃なりし▲市街地減稅運動 全州地主の一部には市街地稅に就て地價の低下せる今日現在率の稅額を納むるの不可能なるを云爲し頭者委員を設けて請願の方法に出づべく運動を開始し居れり▲衞生組合長推擧 全州衞生組合にては去る二十九日事務所に於て評議員會を開き後任者の協議を開きたる結果滿場一致にて志賀日俊氏を推擧せり

光州

▲長官管內巡視 宮木本道長官は各係主任を隨へ二日光州發羅州木浦榮山浦等を視察する筈にて歸任は五日なりと▲武術大會盛會 廿九日光州監獄主催となりて催したる全羅武術大會には木浦群山全州よりも劍士の來光するあり頗る盛會を極めたるが午後五時漸く終了せり▲巡査部長試驗 巡査部長試驗を五月一二の兩日警務部及び木浦警察署にて執行せしが當地に於ける受驗者十一名木浦八名なりと▲工藤前長官記念品 當地官民發起となり募集中の工藤前長官に對する記念品贈呈據金は愈々三十日迄にて締切りたるも尙續々申込みあり其總額は五百數十圓に達すべく其記念品に就ては發起人會を開き決定の筈▲棉花播種遲延 本年棉花播種は先般來の降雨にて耕地餘りに潤濕せる爲め目下最好期なるも一時中止せるが此分にては多少遲るゝやも知れず尤も降雨前に蒔きたるものは却つて結果良好なりと▲內地人營農者數 內地に於ける最近調査にかゝる內地人營農者數は總計七百七十人投資額七百七十一萬四千九百九十五圓にして其の所有畓二萬三百三十八町田九千九百十二町步山林二千六百三十四町步にして右の內一萬圓以上の投資を爲せるもの六十八人にて總投資額の約八割即ち六百三十二萬餘圓を占め居れり

大邱

▲江口防波堤 慶北盈德郡江口港五十川口は從來土砂の爲め全く閉塞し爲に漁船の通行不可能なりしが先月廿二日以來の降雨の爲め川口土砂を押流し幅十七間深四尋の流域を漁船の通行に差支へなきに至らしめたるは全く昨年築造せし防波堤の効力なりとて港民は非常に當局の措置を感謝し居れり

▲鈴木長官巡視 鈴木慶北道長官は二日慶山へ巡視に赴きたるが尙近日中に淸道、倭館、金泉地方をも巡視す可しと▲畜產組合認可申請 慶北道に於ける畜產組合既設のもの十箇所新設九箇所なるが二日迄同業組合令により組織變更認可の申請をなせしもの達城、迎日、淸道、軍威、慶州、盈德、金泉の七箇所にして尙ほ他にも近々中に申請するものありと▲中山院長歸期 司法官會議の爲め上京中の大邱覆審法院長中山勝之助氏は六日歸邱の筈▲大村檢事正歸期 大邱覆審法院長と同行上京中の大村地方法院檢事正は六日歸邱の筈▲鬱陵島組合豫算 慶北鬱陵島五年度に於ける學校組合豫算は歲入歲出共に四千四百〇三圓なるが全戶數三百六十八にして戶別割一千百五十圓一戶平均負擔三圓十六錢八厘餘にして是に慶北三十六組合全部報告濟みとなる

釜山

▲商議定款遞送 釜山商業會議所定款は去る廿九日訂正を了し直に提出せしが釜山府廳にて調査の上一日附を以て其筋に進達せりと▲國庫補助金指令 朝鮮海水產組合大正五年度經費に對し國庫より金三萬圓補助の件は廿日附總督府より下附の指令ありたり▲共進會臨席議員 釜山商業會議所頭追間房太郞氏の代理として臺灣共進會の開會式に臨席したる議員水野巖氏開會式に臨み其後臺灣各地の狀況調査視察をなし三十日午前連絡船高麗丸にて歸釜せり▲大原水產組合長 朝鮮水產組合長大原庄太郞氏は二日より三日間下關市立商業學校構內に於て開催さるべき第十九回西九州各府縣聯合水產集談會に列席の爲め一日午後對馬丸にて出發せり▲工務係長更迭 釜山郵便局工務係長遞信技師神代信平氏は本年十二月を以て滿十年間の勤續者なるが今回元山郵便局工務係長に轉任、其後任として平壤郵便局工務係長稻垣米太郞氏來任する筈なりと▲軍醫の更迭 釜山守備隊附一等軍醫中谷善雅氏は今回敦賀に轉任し其後任として水戶より二等軍醫蒲田菊次氏二十七日著任したるが中谷軍醫は引繼を了したる後二十九日夜の連絡船にて出發赴任したり

慶北の人事

▲龍宮組合基本財產蓄積 慶北醴泉郡龍宮學校組合には基本財產より生ずる收入▲使用料及手數料の全部又は一部▲寄附金▲歲出決算剩金の全部又は一部を以て基本財產を蓄積すべく慶北道廳に認可申請書を提出したり▲東村管理者留任勸告 迎日郡東村學校組合管理者江藤正氏は今回家事上の都合にて辭職を申出しも就任以來職務熱心公平敏速にして組合員の信望厚く今後組合の平和を進むる上に於て適任者と認め迎日郡廳は留任勸告をなせり▲慶北迎日郡東村學校組合議員老論吟兩、內田惠の兩氏は今回都合により議員の職を辭せり▲慶州、浦項、興海地方巡廻中の石田慶北道書記は一日歸邱せり▲慶北漆谷郡倭館普通學校長有賀氏は忠南保寧に同保寧普通學校長光島市太郞氏は倭館へ轉任したり

人事消息

▲阪谷芳郞男(聯合會議委員長) 三日午前入京朝鮮ホテルへ、四日午前七時十分南大門驛發鮮滿直通列車にて北行
▲矢部規矩治氏(同會議補佐委員) 同上
▲鶴見佐吉雄氏(同上) 同上
▲田昌氏(同上) 同上
▲飯塚茂太郞氏(同會議所書記) 同上
▲大西一三氏(同上) 同上
▲木村榮治氏(東京倉庫支配人) 同上
▲木尾茂之助氏(辯護士) 三日午前內地より歸京
▲佐々木志賀二氏(忠北道第二部長) 二日夜入京巴城館へ
▲高島雄三氏(大倉組保險部次長) 三日朝入京浦尾旅館へ
▲富田儀作氏(鎭南浦實業家) 二日夜內地より歸入京浦尾旅館へ
▲中村辰五郞氏(鎭南浦實業家) 三日朝鎭南浦へ
▲永井松次郞氏(在仁川土木局技師) 事務打合の爲め四日入京
▲小原英太郞氏(拓殖局顧問官)▲渡邊新五郞氏(同員) 三日夜平壤一泊四日同地發急行にて滿洲へ
▲北尾榮太郞氏(金堤古川郡農業組合理事) 三日朝京城發南行
▲加藤定吉氏(代議士) 二日午前釜山上陸北行
▲木村雄次氏(鮮銀理事) 三日朝釜山より歸京
▲志村源太郞氏(勸銀總裁) 一行同二日夜水原より入京
▲野津宗一氏(釜山憲兵分隊長) 二日夜釜山へ
▲吉田文哉氏(元山駐箚守備隊一等軍醫) 二日夜入京山本旅館へ

入京せる阪谷委員長(南大門驛にて)
(左)阪谷委員長(中央)鶴見補佐委員(右)兒玉總務局長

●東宮御誕辰祝賀宴
御餘興に興がらせ給ふ

皇太子殿下には一日御誕辰祝賀の御宴を擧行遊ばされたり正午を過ぐる頃より東郷元帥、波多野宮相、戸田式部長官其他東宮職並に御學問所御用掛各宮内高等官は御召に依り參殿し其れ〳〵拜謁拜賀の後饗宴を賜ひ饗て午後一時三十分に至るや淳宮高松宮兩皇子殿下を始め東伏見宮依仁親王、久邇宮邦彦王、朝香宮鳩彦王、東久邇宮稔彦王各殿下御參殿大廣間に於て御餘興あり兩皇子殿下並に各皇族を始め御召の諸員に陪覽差許されたるが別殿よりは式部職管絃樂部演奏の諸樂洋々として起り最初は活動寫眞歐洲戰爭實况を始め種々の西洋物に興じ給ひ次いで早川貞水の講談「赤穗義士傳の一齣」「大阪城冬の陣」等を聞召され再び活動寫眞數種を御覽ありたり(東京)

●露國大使の出發
―寺内總督と溫かい握手

春光一路朝鮮半島の春を趁うて北の故國に歸る露國大使は二日午前八時過ぎ入京以來極めて

▲短時間の間に 京城の見物を了つた、同夜はまた龍山の總督官邸で開かれた華やかな晩餐會の後龍山驛より北行列車の客となつた、驛には寺内總督、井口軍司令官、立花第十九師團長、古海總長を始め露國總領事館員、總督府各部長官婦人令孃等多數の見送りがあつて洵に

▲盛んな送別で あつた、斯くて定刻午後九時五十分前になると白髯の紳士マレーヴイチ氏は總督始め見送りの人々に溫かい握手を交して幾度か這回の歡待に謝意を述べまた花の如き令孃ゼニア孃はこれも美しい手を見送りの人々に差しのべて盡きぬ

▲名殘を惜しみつゝ去つた 一行は都合により奉天長春に一泊して更に西比利亞千里の春を眺めてなつかしい故國へかへるのである、見送者は何れも日露親善の楔子たりしマ氏一行の一路平安を祈つた

●遣露救護班一行の歸朝

露都に於て大和撫子の篤い情けを示した日本赤十字社遣露救護班の一行は四日哈爾賓通過朝鮮を經て歸朝の途に就く筈(哈爾賓特電)

●戀は異なもの

男は四十三女は二十歲 二日午前八時釜山警察署宛にて男女逃走人の取押方を下關警察署より電報ありしにより同署警官は連絡船の入港に際し注意中なるも未だそれらしきものも見當らず二人共福岡縣生れにて男は藤井松太郎(四三)と云ひ顏色淺黑く薄髯あり女は同姓かつへ(二十)と云ひ男に比べると娘位の歲下にて丈低く丸顏の色白にて頗るハイカラ娘なりとの事なるが兩人は現金三百圓の詐欺を働きたるまゝ朝鮮へ高飛びしたるものなりと(釜山)

●興行師と藝妓
共謀して置屋を欺く

德島縣坂野郡瀬戸村字明神當時仁川宮町居興行師留吉事前川富三郎(三二)は傷害前科二犯あり豫て知合ひなる京城旭町一丁目請負業野村某方に出入し居れる内昨年七月初旬旭町三丁目藝妓置屋西川某女方に藝妓北條りん(二九)が前借千圓にて抱へられ居れるも常に隙を覗ひ逃走せんとして手に了へざるより抱主は野村に同女の保護方を託し同家に預けたるを前川は何時しか同女と情を通し諜し合はせて身の代金一部を償却し遣るべしと申込み承諾を得てりんを同伴し大連に押し渡りて同地の口入業の手を經て旅順鮫島町料理屋彌生軒に同年八月十九日前借六百圓にて住込ませ同月二十三四日頃同地忠海町常盤樓の二階奧座敷にて前川は大連信濃町口入業三浦孫平面前に於て京城西川某女の代理人前川留吉として金三百圓を受取り其領收證を北條りんに交付しながら西川へは鐚一文も渡さず悉く横領消費し旅順より歸鮮後も西川方へ寄付かざる事が分り遂に前川は本町署に檢擧せられたり

●新町遊廓の合意心中
馴染客を冥途の道伴れ

二日午後十一時四十五分頃京城新町遊廓六番地京華樓事鎌田方二階西側四疊半の室にて男女の情死沙汰あり

▲兩名共蟲の息 に陷り居るを同樓の仲居が發見して大騷ぎとなり一方其筋に急報し本町署より係官警察醫出張し新町交番の警官新町病院より杉原院長駈付けて應急手當を加へたり女は同樓の抱娼妓八島事鹿兒島縣出水郡西長島村生れの町田とめ(二三)馴染客は佐賀縣小城郡南山村生れ當時京城西小門町西門組倖帳場の小副川富吉(二三)といふ若者にて富吉は既に

▲十數回の登樓 を重ね居りしが同日も朝の四時頃より押掛けて兩名共八島の居室に閉ぢ籠り居るを以て同樓の仲居も萬一のことありてはと大に警戒し懇々說諭して正午頃一先づ歸宅させたるに富吉は間もなく又登樓し遂に同夜午後十一時頃相談の上兩名共白髮染用のナイスを多量に服用して前記の仕業に及びたるものと判明し取敢ず女は新町醫院に男は同樓帳場の實兄が引取りて加療中なるが何れも生命危篤なり

▲女は昨年六月 中龍山桃山遊廓より前記京華樓に四年間前借金五百圓にて抱へられたるものにて中流の流行妓なりしが自殺に先ち女は數通の遺書を認め之れを蒲團の下に搬込み居り内一通は本町署長に宛てたるものあり何か事情の伏在するとならんが聞く所に依れば前借金の償却に窮し且つ樓主より冷酷なる取扱を受けたるより大に悲觀の末死を決し遂に馴染深き富吉を納得させて共に此の仕末に及びたるものならんと

◎妙心寺接心修行 臨濟宗妙心寺別院にては先月來京都地方巡錫中なりし後藤瑞巖老師歸山に付五日より九日まで例の如く午後七時より同十時まで夜坐接心を修行する由

活動大寫眞來
シエンキーウイッチ傑作
新版「何處へ往く」 長尺
五月三日(水)四日(木)五日(金)六日(土) 四日間開催
會場 壽座
主催 京城青年會

●外人客を牽き付ける溫い心
▼公衆道德の發達した國は旅客をして其國全體を世界の樂園たる感あらしむ
歐洲戰爭の我國に與へた影響
「木下鐵道院運輸局長談」

鐵道旅客の公衆道德と云ふ問題は我が國の數年前大に論じた事ではあるが此問題は啻に内國的の小さな問題のみに限られず實に

▼◆國際的大問題 である我々にしても多少の經驗があると事だが大抵の外國旅行者は停車場の揭示を讀む事も出來ず隣席の會話を解する事も出來ない程の聾盲に等しいもので唯さへ不安勝ちなのに驛から旅館迄のトランクの心配をしなくてはならなかつたり始終四周に氣を配らなくてはならない樣では旅行が苦痛になつて來る其れが

◆其國の公衆道德が發達して◆何處へ到る處安心して旅行◆が出來旅館に着いては悠つくりした氣分になつて旅の情緖を充分に味はへると爲れば外國旅行者をして其國全體を世界の樂園たる感あらしむる事が出來る是れは如何に外國旅行者を牽き付ける事が出來るか知れない無論相當の設備があつて外國旅行者に不自由をさせない事は必要であるに違ひ無いけれど國民の溫かな心が旅行者に與へる感じ程深いものはない平時に於ける時既に然り然も今日及び明日の問題として日本國民が痛切に感じねばならない事は歐洲戰後に於る

▼◆我國の位置で ある歐洲戰爭が日本に與へる影響は言ふ迄も無く非常なもので貿易は輸出が未曾有に增加し正貨の流入も夥しく昨年のみで一億圓の額に達し本年度は二億圓にも上らうと先日大隈伯は演說した歐洲戰爭繼續中に於ては軍器や軍需品の需要もあり更に外國でも普通工場は勿論新しく設置された工場さへ全部軍器製造に用ひられ其れでも不足勝ちだからこそ

◆日本からの輸出も歡迎◆せられてゐる次第なもの〻戰後は果して如何になるべきであらうか現在に於ても或は製鐵所の擴張問題など起つたり各種工業が激增したりしてゐるが是等の經營に就て如何にするべきか豫て自由貿易を主義として實行し來つた英國が保護政策をとつて輸出入品を制限禁止したりしてゐる斯の如き問題は戰後繼々として現はれ來るであらう全體から言つて交戰國の大半は

▼◆財政的轉倒を 來すに違ひ無い從來他國に金を貸して遣つて來た國が却つて債務國に變化したりする樣な事になる財政の窮乏を救ふ爲めにあらゆる策を講ずる樣になる戰爭が終れば軍器軍需品製造の爲めに使はれてゐた各工場が總て普通品の製造と代り政府は自國工業を保護する爲めに保護貿易を取り盛に排他的行動に出るであらう斯の如きは歐洲交戰各國の將來であるが日本の將來は戰時中大に

◆日本からの輸入が歡迎◆してゐた交戰國が一齊に◆競爭者と變る事を想像すると今日より一大覺悟を要する次第である殊に日本には有ゆる工業の材料たる鐵はお隣の支那から輸入を仰がねばならず石炭の如きも年々二三千萬圓の輸出はあるものゝ英米等には比すべくもない更に工業と言つても漸く生まれ出た許りのものだから戰後の財政的大競爭には大奮發の覺悟をしなければならない、最近に於て日本にも經濟調査會と云ふものが組織されて我輩なども幹事に擧げられたが果して此の

▼◆戰後の難關を 打ちぬける程の名案が出るか怎かは疑問である我輩秘に思ふに嘗度一度は彼の佛蘭西や伊太利、瑞西等の行つた樣な外國旅客の漫遊地とする時代を經過せねばなるまいか一體日本は東洋の樂園をして西歐諸國の漫遊客の注意を惹いてはゐるが日露戰役の後の一番多くの漫遊客があつた時でも一年に四千萬圓餘の金を落して行つた位で其後年々漸次減少して行つて最近では一二千萬圓となつてゐる旅客を迎ぐべき設備が不充分なのか

◆外人を見て暴利を貪る◆底の行動に出でた爲め◆旅客をして倦きを生ぜしめたか其理由は兎も角として旅客の減少は事實である之を佛伊瑞等の二億圓から十億圓の多額に比する時は殆んど比較にも爲らぬ日本たるもの何か少しく注意努力して外人客の足を止めしむる事に努めたならば之に幾倍幾十倍さすは易々たる事であらうと思はれる更に茲に注意すべきは戰後交戰國に於て生ずる廢兵なり未亡人なりである其數は交戰國の戰死者の數の多額なると比例して多數な譯だが外國の是等に對する恩給乃至扶助料の如きは日本などに比し

▼◆遙かに豐富で ある而して彼等西歐人の國民性は日本人等と比して大に差違があり徒らに鄕里鄕國のみに戀々とせず寧ろ物價が低廉に且人情溫かく住よい土地でさへあれば敢て國の内外は論じない然も交戰列國は共に右述べた如く財政的窮境を脫する一方法として人民に重税を課する必要も生じて來ようと云ふ時であるとすれば尙更の事である即ち日本は是等の世に望み多き大半を失つた人達を呼ぶ事に努めの其の足をして十數日は數箇月に、數箇月は數年たらしめんには利する處蓋し鮮くないと思ふ―僕の如きは

◆予が日本の歐洲戰後に◆かける經濟救濟策として◆特に提案したいものゝ一つで愈々其の實現に際しては諸般の設備素より充分なるを欲するけれども徒に華麗贅澤ならんよりは實用的に悠つくりした設備で事足り而も其れ以上に國民の外人に對する心掛即ち溫き心を以て外人を遇する事の方がどれ丈け旅行者へ快い感じを與へ得るか知れやしない恬くてこそ日本をして世界的樂園たらしめ財政的窮境を一時其下に避けて天晴れ一等國の眞の位置を贏ち得たいものだと思ふ

演藝案内

御成座 電話二九一 成町
卅二回目藝題 毒婦三日月お六 全二十二場 遊人甚吉(小泉)川口六造(花房)看留新助(渡邊)狸の三次(白川)お六姉お仙(石黑)破犬五吉(花井)一女郎櫻木(米田)英國人クロンポン(川上)川啓吉(本田)女郎小宗(津田)牟弘塾(岸)師お染(女團子)遊藝お六(中村)大然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七
○四月二十九日より差替特別大寫眞 ◎佛國キユウ公園の散策○滑稽ピンプルと女醫師 ◎新派悲劇「女夫岩」全三十八場 樋口元道の娘百合子の夫浪上醫學士に由來就職し居りし百合子の姉伴子は果て百合子に思を寄せあり茨城法學士を昭らひ各自の道を誤きしめんとの姦に陷溺を生じ惡亦色々有ゆる迫害に泣く百合子の運命や實に春雨のそれならぬ思はず袖を絞らしむ ◎泰西大活劇「電線美人」最長尺 當時注意を惹き居る密輸入を發見したる鐵道事務員メリー孃は彼密輸入者の惡險なる迫害に遭ふも忠犬リツプの働きに依り助勞を得かに覺天動地の大冒險大活劇を展開し手に汗を握らしむ ◎嵐與徳 嵐和三郎、市川錦四郎大一座出演 ◎教育參考史劇「義經實記」全五卷 竹本越路太夫部弟子竹本越吉太夫出語り 天活會社四月に於る大規模新撮影に係る特別大寫眞にして當館に於て封切り上場御高覽に供す

壽座 電話五七八 本町
◎改正義團一行 日曜日晝間正午十二時より開演午後四時三十分閉會する事に致し居候尙夜分は正六時開演十一時 每土曜日曜日祭日は晝間興行 五月三日藝題 獨逸士產ジヨンチヤーレス 乾 龍 役 一女房おさよ(池田)一ジヨンチヤーレス(大村)一大村泰助(播磨)一柳木公正(西村)一夫人文子(郡島)一騎士(陸島)一印度人ニケロ(小梅)一支那人阿吉(美咲)一判良一田(水谷)一中野太郎(三輪)

浪花館 電話二六〇番 明治町
大阪女義太夫大一座 十三日目(三日)語物 ◎御祝儀寶の入船(入登)◎廿四孝四段目(逢昇)◎梅の由兵衞聚樂町の段(伊達春)◎御所櫻三段目辨慶上使の段(長花)◎朝顏日記宿屋の段(昇六)◎太功記十段目尼ケ崎の段(長春)◎明烏六花曙山名屋の段(伊達若)◎菅原四段目寺子屋の段(閣昇)大切忠臣藏七つ目一力茶屋の段(總一座掛合) ▲三味線(鶴澤歌子) ▲每日晴雨に不拘午後正六時開演仕可候

壽館 電話一〇五〇 町
四日目讀物 一難波戰記(吉田千代丸)一水戶黃門記(京山茶菊)一義士銘々傳(女太夫吉田奈良菊)一靑島軍事探偵サーピス一本(長講一席つゞき吉田音右衞門)一三國一藪井玄意(長講一席女座長)つゞき吉田八千代)三味線京山菊路)一座中吉田音右衞門は靑島攻圍軍司令官神尾將軍の御前講演なし多大の賞讚を受く 入場料一等金三十錢、二等金二十錢、三等金十錢 下足料無料 破格大勉强五月一日より向五日間

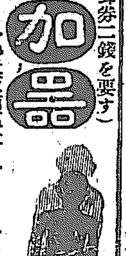
大正館 電話八七三 櫻井町
四月廿八日より特別大寫眞 ◎寫眞の船旅行 ◎喜劇ツヤガタラ 五月興行 ◎佛國エクレール會社最近移入品 ◎泰西探偵奇談「怪公爵」全三卷六千呎 ▲公爵夫人は惡漢の爲に入り密室の秘事を窺ひ家出す公爵は身分の爲に發覺し惡漢の秘密を盜み公爵の結果を凶の公爵に爲る名探偵レクは飲り大探偵の秘密は名探偵の手に入り公爵は殆ど手を盡すことの恐るべき 紳士も事件を解決し公爵を迷宮に入る名探偵果して此の怪公爵を破し得るや否や ◎現代劇說「娘一代」全三卷二千七百呎 ▲藤澤淺次郎、關根達發、立花貞次郎合同出演 ◎筑前琵琶 村上桂林出演彈奏 ▲苗之助と想思の仲なる娘お花は父の爾愁の爲め涙を呑んで河野家へ嫁ぐ糾葛は花片の散りて活動ろしき事實の長物語 ◎義士銘々傳「神崎與五郎」全三卷 ▲日活京都撮影尾上松之助一郎同大市鉛七銘々傳五十陽百助十巻の內第一回三卷上場 ▲庄吉の劫年時代より主家の復讐まで 寫眞は參考文吉家將大勉强夜の御觀覽を乞ふ へ全百八場長尺物

新債券(六十四回二千圓のくじ十二本)
月賦賣第一回金貳圓申込料共拂込次第番號通知す
京城長谷川町五八◎振替京城三五七五番
日本勸業銀行債券月賦販賣所

◎音譜仕入は大阪音譜商會に限る
▲練盤音譜壹等品三百回使用保險付 兩面盤壹枚に付(箱代共)
◎金參拾八錢 小包共 送料共
但半打以上に限る(目錄進呈)
▲音譜曲目御好みに應ず◎途中破損は弊商會に於て辨償す望の方は八ガキにて申込次第代金引替小包にて送る各位御安心の上續々御用仰付を乞ふ
家庭娛樂
大阪市北區古川町七拾參番邸
電話西三〇六 振替大阪二八二四八
發賣 大阪音譜商會營業部

謹告
一金五百圓也
右亡妻吉田ツネ儀旭日生命保險株式會社ご契約致居候處今般死去致候に付頭書の金額同社仁川代理店坂倉伊平商店を經て受領致候間此段契約者各位に謹告仕候也
大正五年五月一日
仁川松坂町一丁目十番地
保險金受取人 夫 吉田喜太郎

發明特許(詳細說明書は郵券二錢を要す)
身長增加器
脊の低き人を高くし體癖を矯正す
發賣元 大阪南區大黑橋北詰北 村上營業部



◎タングステン高價買入れ仕り候
重石鑛〔十パアセントより七十パアセントまでの品高價現金買仕り候〕
優良なる〔七十パアセント以上の品は一斤三圓替にて何程にても申受け候〕
重石鑛主〔にして代金前拂御希望の方には鑛夫賃金並に諸費用立替申上候〕
弊店は〔唯だ重石鑛のみ希望致し候間價額は充分の御相談仕るべく候〕
京城貞洞二十五番 ジヨージ、アーレン商會

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番 五八〇番
振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所
龍山元町二丁目 電話二八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

貸自動車運轉開始
郊外散策の好季
南大門外
近藤運送店自動車部
電話六七二番

タリヤ
實費分讓 目錄無代進呈
京城西大門外竹添町二丁目
東京千草園分園

◎群山神社大祭 一日は群山神社の春季大祭當日なれば午前十時より同社殿に於て嚴かなる祭典執行…同地群山日報社に於ては…車大競走會を小學校庭にて開催し…

…び御供菓子家内安全の御守等を頒ち興へ又り當日餘興として邪山貿業倶樂部主催にて店員大運動會及び自轉…掲げ興を添へ又た市中の各戸は軒燈を掲げ國旗を樹て櫻花其他の造花に…

●豺の正體は野犬 釜山伏岳…日午後に至り突然三三箇所より只今…もしたるも何等…ヌクダ騒ぎは彼の野犬の所爲と判明…

京城の城壁（3）

城壁廻りは昔から行はれた

城壁廻りの遊びは古來屢々行はれてあつた、むかし李朝中世四檢書の一人たる柳得恭の書いた『京都雜誌』の中にも京城の遊賞を次のやうに記して居る

即ち今の中學校裏あたりの弼雲臺の杏花と北門を越えた石坡亭附近北屯の桃花と、清涼里即ち興仁門外の楊柳、天然亭（東小門外）の荷花、三清洞、蕩春臺の水石等が美くしいと記して居る、そして『觴詠者多く此處に集まる』と書いて居るから、むかしから春の遊び塲所ともなつて居たらしい次ぎに城壁巡りの事は『都城周圍四十里、一日で遍巡され、凌晨始登、昏鐘可畢』であるが山路は絶險なれば往々中途で引返す者もある』と記して居る、また巡城遊は古來朝鮮ですこぶる〱のやうに旆らへた圖面もある程でむかしは盛んに行つたものと見える

元來京城の地を李朝の都と定めたのは僧の無學の意見であるが

由來朝鮮でも日本でも支那でも地相といふ事には非常にやかましい注意を拂つたものであるから初めは充分考へたものであらう、地相のことは朝鮮では新羅の義相大師、道詵大師などゝ云ふて居るがこれは唐の時代天臺の坊さんの唱へた風水之說といふのに據るので詰り地勢が人間の禍福吉凶に關係するといふのである、風水之說によれば先づ都の土地に主座となる山を定め其の左右に配する峰を考へ中を流るゝ河流や鎭山に對する山などを調べた上選定するのであつて

僧の無學は初め西部の仁王山を主座の鎭山とし景福宮邊の白岳と南山とを左右の龍虎に定めようと主張したけれども時の宰相鄭道傳はこれに反對して『古より帝王皆南面する例はあるけれども未だ曾て無學の云ふ如く東面した例を聴かぬ』といつた、そこで無學が云ふには『若し自分の意見にして容れられずんば李朝は二百年にして思ひ當る時が到來するであらう奈何となればむかし新羅の義相大師が豫言したことに漢陽に都する者若し僧侶の言を聴かずして鄭姓の人の言を容るれば五代目にして必ず纂奪の禍が生ずるであらうとあつた、それにも…ひなくばお行りなさい』といつたが議遂に容れられずして宮闕は鄭道傳の言の如く景福宮に南面して建てられた、後年世宗の世嗣端宗の位を世祖が奪つたのは正にこの豫言が適中したものだといはれて居る、景福宮の宮闕は明の洪武二十七年朝鮮の甲戌の年十二月から起工され大祖の四年に竣工した

城壁は今から約五百廿年前大祖の五年目から築かれて最初の年の春三箇月は平南の民夫十一萬九千人を使役し翌年の秋三箇月間は江原、慶南、全羅三道の民夫七萬九千人を使役した、城門は總て八門なるがその中光熈門の南側なる水口門（新町から並木町の通）だけは專ら葬式の時に通行する門であつた（鮎貝房之進氏談）

…し別室に連れ出し毆打脅迫の上金品を强奪逃走したりと

■誕生日のお膳立

父母其他の誕生日を祝する事は家庭年中行事の一として望ましい事で、さて當季の料理材料を用ゐて祝の膳をいたしますれば

△鱠 を三枚におろし皮を引きそぎ身につくり、別に人參と大根を細冊にきり右三品はいづれも鹽をふり、酢であらひ鱠なますに盛り、人參大根をうしろへもりて、三杯をかけます

△味噌汁 白味噌を少し濃目にすり、鰹節煮汁にてのばし、小蕪を莖すこしつけて四つ割にて皮をむきゆでる生椎茸は賽形にきり、これへ紅白のつみ入れを加へて汁の實とします

△燒物 は小鯛をまるのまゝ鹽燒きにしてまへに蕗の葉をゆでゝきざみ醬油へ鰹節を加へ煮出して、この汁にて煮こみ、中頃に味淋少量を加へ汁のなくなるまで煮あげてこれを燒物のまへにそへます、この蕗のつくだには茶づけの菜にしてもよろしうございます

△御飯 は小豆飯か普通の飯川でございます。此外には口取、煮しめなどをそへるとすれば尙宜しうございます。

●全州の活動寫眞 本社全州支局の主催に係る御大禮謹寫團活動寫眞は豫報の如く去る三十日、一日の兩日に渉り劇塲全州座に於て讀者及び一般内鮮市民の觀覽に供したるが中々の好評にて二千有餘の觀客は孰れも敬虔の念に打たれたるものゝ如くにして極めて靜粛裏に終了を告げたり兩日とも滿塲立錐の餘地なき盛況を呈したり初日には午後一時より守備隊兵士と一般の觀客を合せ約二百名夜間は三百七十餘名翌一日には前後四回の映寫に分たれ第一回は普通校生五百名第二回小學生約三百五十第三回には東亞分工塲の職工慰藉會としての約三百六十餘名を家族連を以て充たされ第四回目の夜寫には一般觀客約四百名の入塲者を見たり（全州）

●五人組の强盜 全南谷城郡立面下黑里五十九戸崔成官（三四）方に五名の强盜押し入り家人を布にて縛…

見よ、壯擧！、快擧！

城壁廻り

城壁廻り。京城の城壁は南山、駱駝山、白岳、仁王山の諸峰を連結して蜒蜿五里に垂とす。京城の城壁は今や漢陽名跡の一として吾人の目前に横はれり。偉大なる古跡よ。吾人は春光酣なる來る七日の日曜日を以て、此の偉大なる古跡を踏尋せんとす。來れ諸君、花を賞せし諸君、更に此の壯擧に依て勇悍に而して豪爽の氣を養はれよ七日の日曜日は花には既に遲し、吾人は同日を以て斯る壯擧を敢てし諸君と共に此の偉大なる名蹟を辿りつゝ、探春の快を貪らんとす。來れ諸君、振つて參加せよ。參加者の注意及び當日の順路等は追て詳細發表すべし

來れ參加せよ、吾人の快擧

演藝

△浪花節 竹本圓升一座の女義太夫は二三日中に打上ぐる筈なるが十四日目四日夜の語り物は左の如し

△御祝儀三番叟の入船（入登）△由良湊千軒長者山別れの段（連昇）△御所櫻三段目辨慶上使の段（長花）△鎌倉三代記三浦別れの段（昇之助）△卅三間堂棟由來平太郎住家の段（伊達春）△卅三所花の山壺坂寺の段（長春）△近頃河原達引お俊傳兵衛猿廻しの段（伊達若）△恋女房染分手綱重の井子別れの段（圓昇）△大功記十段目一力茶屋の段（かけ合）

△竹本奈良梅 永らく病氣中なりしも本町の淨瑠璃の師匠奈良梅は全く快癒したれば近々稽古を初める由

△御成座 中村榮一行四日夜の狂言は妲妃のお百月お文全二十二塲なり

だいどころ その日〱

■あげしんじよ 油揚を二つに割り茄て三三度水にて洗ひ水をよく搾き置き豚肉に食パンを水につけて搾りし物と、酒砂糖及び醬油味淋をよくまぜ合して、あたりこれを前の油揚の中へいれて口の方を下にむけて折り、蒸籠にいれて蒸し、別に鍋へ酒砂糖醬油煮汁しをいれて火に煮し、物を再び煮こみ三圓位器へとる

宮本武藏

第二十七回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

宮本は尾州公の御目通りへ出でると君公より何ういふ次第で岸柳子弟三人を殺害して江戸表を出立したかといふ事をお尋ねになる、开で一伍一什の話をして、亦二刀流の遣方も說明して御聞に入れると君公『君』『餘程便利なものだ、一度も見た事がないに依つて今日勝負を仕て見せろや』武『畏まりました』其中に御家中の人々が追々罷出る、其は宮本と山本の木劍勝負があるに依つて、劍術執心の者は罷り出でろといふ事で、武士は劍術執心でないといつては濟まぬから皆な出て來た君『宮本、其方に對手をする者を見立て遣はすから左樣心得い』武『ハツ』开でお見出しになつたのは天然流の管槍を遣ふ妻木主計之助といふ者、年は二十六歲であるが仲々の技倆、お庭に薄縁のやうなものを敷いて兩人其處へ立出で双方面小手を著け、挨拶を濟ませ、ヤツと後へ下つて身構へをする、一同固唾を呑んで見物して居ると妻木主計之助ヤツといつて宮本の腰を覗つて突懸るを、宮本は木劍で引拂つて置いて、左劍を振つて打込まんとすると二度目に腰へ槍が來る、今度は左で押へて置いて右劍を振上げてヤツと聲を懸ける……之を見て御舘は『勝負見えた、退け……』と仰しやる、开で双方後へ下つてしまつた、所が拜見して居た面々は何方が勝つたか分らない。一向分らぬ、△『何方が勝つたか分らない』×『手前も分らぬ』○『只今の勝負は分らぬといふ事はない、分りきつて居る』△『剛いな、貴公はどう見た』○『最初主計之助が突出した槍は宮本の腰に當つた其を宮本が參つたといはんで乘込んで打たうとしたものであるから二度目に突出した、宮本は右の太刀で押へたが勝負は已に付いて居る、武藏先生に似合ぬ仕方だ、妻木が最初に突いて居る』×『ハアさうかな』○『其だから尊公御修業なさいといふのだ、お前樣達は眼が有つても節穴同然だ』といつて居る中に御舘は兩人を召して盃を下され、妻木には印籠を下される○『どうだい妻木が御印籠を戴いた』△『成程』御舘は『さて主計、最初其方が突出した槍を宮本が右劍で拂つて乘込まうとした、二度目に其方が突出したのを左劍で抑へて右劍を振上げた、右劍を振上げた時に切尖はモウ其方に中つて居る、其方は年若である宮本が打つべき所を打たんで聲を懸けたはモウ氣合で勝つて居る、最初に打たれても致方がない、二度目に突出したのを抑へて木劍を振上げたのは電光石火といふ有樣、今の所で宮本に叶はんでも宮本の年齢になれば宮本に優つた腕前になるであらう、武藏は情ある武士だ、打つべきを打たんで能く若年者に花を持たして吳れた』舘は如才がないから宮本を褒めるより負けた主計之助に宮本の年齢になつたら宮本に優る腕前にならうと言はるゝのは。人を遣ふのが上手といふもので。然らば武藏先生に御褒美がなくとも鼻が高い。スルと向ふの方に居た若侍が『オイ〱近藤。貴公は今妻木氏が勝つたと言つたが。御舘樣の仰せられるには。宮本が勝つたと言ふではないか』○『さうかな』△『何んだ、眼があつても節穴同然だなんて、知つたか振りをして貴公こそ何處へ眼を注て居るのだ』○『イヤ恐入つた宮本は流石剛いな』△『今になつてそんな事をいつたつて追付かない』杯とワイ〱言つて居る、其後は山本と宮本の立合であるが、庭前では眼が届かんに依つて座敷で致せ、疊が汚るから水を打てといふので、其から座敷へ水を打つ、お大名といふものは鷹揚なものでございます、結構なお座敷へ水を打つ、兩人共に心配だ、宮本は取分け山本は命の恩人であるに依つて負けて花を持たせたいがさすれば二刀流の恥辱になる、亦山本も武藏は態々尋ねて來たものであるから負けて遣りたいが負ければ尾州の恥辱になる、併し双方共負けては氣の毒千萬、勝つては相成らん、から離かしい塲合だ、襷鉢卷、袴の股立を高く取上げ木劍を携へて兩人其れへ進み出た

お聞きなさい

●一軒家の日本人殺し 熊本縣人吉田いちは支那人を夫とし露國ハバロフスク市外の一軒家で日本の醬油味噌を商ひ有福に生活したが十日程前夫婦共鈍刀で慘殺され目星しき家財を奪はれたが馬賊の所爲らしいので所轄警察署は大檢擧を行ひ市内の無賴漢を拘引して犯人嚴探中

◆瓶鐵砲で殺さる 東京神田仲町淺草食店矢部宇三方雇人石川豊吉（二七）は廿三日深更朋輩の女中永島みつ（十六）が二階の寢所へ忍び寄りしかばみつは驚いて突飛したる機みに豊吉は窓から階下へ眞逆樣に墜落し後頭部を打つて即死した

五月五日九星 舊四月四日壬寅 本命六白乾開先勝

△六白 四度計なき事有日 新事見合南方は吉 [illegible] △七赤 [illegible] △八白 [illegible] △九紫 [illegible] △一白 [illegible] △二黑 [illegible] △三碧 [illegible] △四緑 [illegible] △五黃 [illegible]

商況

東京株式特電 三日前塲寄付 大引 [illegible]

債券現物特電 三日出來値段（前日との比較） [illegible]

公債直取引特電 三日出來値段（前日との比較） [illegible]

深川在米特電 三日出來高 [illegible]

東京期米特電 [illegible]

大阪期米特電 三日前塲 當七月限 後塲 [illegible]

大阪株式特電 三日前塲寄付 [illegible]

大阪三品特電 三日前塲 [illegible]

下關期米特電 三日前塲（海明り各地高に追進せし展望） 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]

雜報 [illegible]

●毛斯綸の下落 [illegible]

●銑鐵は漸騰 [illegible]

●綿糸愈々强硬 [illegible] 突飛相塲を現出す…約二倍强

●鹽鯡益々不味 [illegible] 一二十一二三圓處

●酒精の昨今 [illegible] 十五六圓

●漬物類の近況 [illegible]

下關相塲 [illegible]

△朝鮮一等白米（當用） △同二等白米（當用） △同 △元山大豆並品 △同並上品 △同大玉 △フリツが大豆（塲山） △同 [illegible]

仁川米豆取引所仲買人 まるみや 文部人土居勝 電話二八三番 [illegible]

京城正米 [illegible]

行貿仲買店 仁川海岸町三丁目 吉 [illegible]

京城雜穀 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川現物市塲 [illegible]

釜山穀物市塲 三日 [illegible]

仁川期米 [illegible]

▲三日前塲 五錢高の入電

▲三節十四圓九十錢

▲七錢と暴落移に

○三錢と引返し移りに 大阪九節

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 三巴仲買店 電話 [illegible]

市塲雜聞

▲依然保合ひ [illegible]

仁川米豆取引所 三日の七月限

前塲 寄附 止 高 安 出來高 平均値段 [illegible]

賣買取組高 [illegible]

大下鞘の勿怪の幸 [illegible]

料は變質は反つて强材 [illegible]

暴落 [illegible]

高見買も再度の大 [illegible]

軟軍 [illegible]

▲期米前途觀 [illegible]

强硬の成行を示し [illegible]

▲尙小相塲乎 [illegible]

岐 [illegible]

然る後に於て何れにか分 [illegible]

斯くして大取組 [illegible]

▲人氣落付く [illegible]

存外落付模樣を呈 [illegible]

押目は底强く戻り頭重し [illegible]

北濱だより

▲東洋製糖株 [illegible]

碧空高く飜る 雄々しい皐月の鯉幟

他家を羨む御婦人は今日を機會に

靈藥中將湯を召上り

弱い身體を壯健にして

立派な子寶を

儲ける心懸けが

何よりも肝要

注意

◻現今中將湯の賣行隆盛なるを羨み粗惡の僞造品を賣る者あり登錄商標中將湯の三字に御注意御買求めを乞ふ

中將湯の名譽

醫學博士 瀨川昌耆先生の賞辭

幾多賣藥中内外に名聲を轟かしたる中將湯の婦人諸病に偉効あることは産科婦人科專門醫學博士諸氏の證明に徴しても明なり余も本劑に關して多數の子宮病『ヒステリー』月經不順等の諸病者に服用せしめし結果着々良好の成績を得たることを實驗せり故に余は『中將湯』は婦人藥こして最良の者たるべきを確信す

中將湯主効

●子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前爛れ又下腹腰足の引つり痛む人
●婦人神經（ヒステリー）血道にて氣欝痛高ぶり物を苦にし夜眠れず
●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え●息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
●十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
●白帶赤帶帶下多く顔色蒼白き人●冷症にして難産流産の癖ある人
●産前何となく常ならざる人●嘔吐産後古血の滯り、或は日立惡しく
●此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡しき人

定價

二日分	廿錢	三週分	一圓六十錢
四日分	卅五錢	五週分	二圓五十錢
一週分	六十錢	十週分	四圓五十錢
二週分	一圓十錢	廿週分	八圓五十錢

○加減藥あり容態詳しく御申込あれ

加減藥定價 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢

中將湯

本舗

津村順天堂本店
東京日本橋通四丁目（振替口座六〇八番）
電話本局六十二番◆六十三番

津村順天堂支店
大阪市堺筋大寶寺町（振替口座四五六番）
電話南二十五番

■東京、大阪市内は電話又は端書にて御一報次第早速配達す。地方は送料要せず
■中將湯は世界各國到處の藥店に販賣す

婦人衛生手引

産科婦人科專門醫學士 天本治述

御申込み次第無代進呈す

本書は月經の手當を始め諸種の婦人病の原因、症候、療法及産前産後の攝生法、其の他衛生上一般婦人の是非心得て置かねばならぬ事項を斯道專門の天本醫學士が誰にも解るやう平易と親切とを旨として述べられたものゆゑ婦人病に苦まるゝ方は參考として一讀する必要がある發行所は東京日本橋通四丁目津村順天堂本店及大阪堺筋大寶寺町の津村順天堂支店で御希望の方へは郵券二錢封入の上御申込みあれば直ちに無代で進呈します

京城日報

四日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金三錢五厘　一ヶ月金五拾錢　但一ヶ月分前金に限り　郵稅共一ヶ月金六拾錢　三ヶ月壹圓七拾錢　▲郵券代用二割增

廣告料　▲五號活字一行金七拾錢　▲特別欄內一行金壹圓貳拾錢　▲所指定の一行は二號活字增　▲三號活字の一行は五號活字同樣

發行兼編輯人　奧田直毅　印刷人　峯口政太郎

發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

電話番號　編輯　一二四番　營業　三六〇番　振替貯金口座　京城三〇〇番

京城日報　愛蘭の暴動

此度愛蘭ダブリンに暴動起り漸次各地に及ぶべき形勢あり、英國政府は愛蘭全部に戒嚴令を布き、コクスウエル將軍、愛蘭鎭定の全權を委任せられて動亂地に赴きたり、嗚呼是れ英吉利の不幸、就中愛蘭の最大不幸なり。

昨今歐羅巴より來る電報甚だ區々にして、或は叛亂は一部愛蘭人の暴擧にして深き根蔕なく、今や既に下火となれりと傳ふる、他の一方には其勢力甚だ強大にして在外愛蘭人の大陰謀に出で、獨逸人すら之と通謀し居ることを云ふものすらこれ有り、何れが眞なりや未だ速斷すべからずと雖も、此地固と騷擾の歷史に富み、近年穩かに其事なしといふも、不平無賴の徒猶ほ常に所在出沒するあり、戰時倥偬の間に於て、此の如き報道を聽く亦深く怪むに足るものなし、且一昨年愛蘭自治法公布せられたるに拘はらず、アルスター地方の之を喜ばずして反抗を企つるあり、政府亦猶豫躊躇しつゝある折柄、大戰役勃發せる爲めに、自治法の實施を延期したり、自治法實施を延期したることは、愛蘭人民の平かなる能はざる所なるや論なしと雖も、當時翕然として擧國一致を唱へ軍國の事を共にしたるは甚だ稱すべし、然るに今日に及びて遂に此紛擾を見る、蓋し是れ一般愛蘭人民の志にあらずして、一部『デマゴーグ』の爲に欺かれたるものゝ行動のみ。

愛蘭は其面積三萬二千五百八十六哩、人口四百三十九萬人、現に大英帝國の一部を成すと雖も、其經濟及び文化遙かに低く、特に其愛蘭人の總人口は九百有餘萬人を算するも、其過半即ち五百萬人以上は他國に移住又は出稼を爲し、其故國を荒廢に委するといふ有樣にて、其國民は寧ろ自暴自棄の傾あり、英國の愛蘭を保護し扶掖する甚だ至れるあるも猶ほ此の如きものあるは、土民亂を好み、常に騷擾を醸す上に利用厚生の道を求むるに怠るがためなり、而して今乃ち其國民を擧げて、存亡を賭する戰時に際して此不逞の事あり、英國民皆之を怒るのみならず、愛蘭人たりとも識者有力者は皆其の非擧を惡まざるはなし、英國政府固より一たびは此に苦むべしと雖も其力能く之を鎭撫するに足るや論なく、匪徒の反抗強ければ強きほど、英國政府の壓力も亦加大すべくして之に由りて不幸を添加するものは則ち愛蘭人民ならざるべからず。

世間或は此暴動を以て、獨逸人の陰謀に出るものなりと爲せども、是れ或は餘りに獨逸人の勢力を買被りたるの言ならずや、獨逸政府は英國に內亂の起るを喜ぶや論なし、併しながら其力自ら限り大英帝國の本部にまで手を出すとは不可能なるべく、又英國政府とても獨逸人の計畫愛蘭全部に及ぶまで知らずして、之を過越すべき道理あるべからず、即ち是れ吾人が之を以て愛蘭一部煽動家の所爲なりと爲す所以にして、愛蘭人民にして自ら其嚮背を誤りたることを覺らば、其の首服するに躊躇することなかるべきなり。

上杉鷹山公（六）

内務部長官　宇佐美勝夫

文政五年二月公の病褥に就くや、一門を始め執政諸有司深く之を憂ひ醫療祈禱盡さゞる所なく、藩中の諸士より遠村窮邑の百姓に至るまで或は神社佛閣に參籠し、或は他國の名山靈地に到りて平癒を祈る等恰も父母の病に遭ふが如くなりき。然れども天終に壽を假さず、日々危篤に迫りしも、公の精神言語に至りては毫も平素と異る所なく、當主齊定に遺誡せらるゝ事一として富國愛民を目的とせる經國の要務ならざるはなし。齊定と對話するの時又は朝夕食事を爲すの時は必ず端座す、左右其の疲勞せむことを恐れ、切に安臥を勸めしも公聽かずして曰く『幸ひに大過なくして此に至る。最早餘命幾程もなし。此の儘にして勤め畢らむ哉』と。左右感泣して仰ぎ見るものなかりしといふ。『最早餘命幾程もなし此儘にして勤め畢らむ哉』の一語、實に公の平生を自ら吐露して餘あるものと謂ふべく、言簡なるも其の意味極めて深長、余は之に對して無量の感慨と敬虔の念とを禁ずる能はざるなり。

嗚呼、爲政者の心を用ゆる斯の如くにして始めて明君と稱せられ、德澤百世に流れ芳名千秋に傳ふべし。然れども是れ少くも一國一領土を治する人の龜鑑にして、吾人の修養を目的とせる本府研修會に於て之を說くは適切ならざるが如し。されど翻へつて考ふるに『國之父母』の一語は是れ即ち國君の職務なり。人生れて誰か職務なからむ、而して其の職務に於ける確乎たる信念を要すること、決して貴賤上下の別によりて異なるの理なし。況んや余等職を官吏に奉ずる者に於てをや。是れ實に吾人の深く鷹山公に私淑せむとする所にあらずして何ぞや。余之を思ひ常に自ら吾が職務に對する信念を養はむことを欲して止まず。他日機を得ば更に此の信念につきて余の思ふ所を披瀝し、諸君の明教を乞はむと欲す（終）

英軍降伏眞相

メソポタミヤのクト、エル、アマラで土軍に包圍せられて居た英國駐屯軍が遂に敵軍に降伏したといふ倫敦電報につき某軍事通は語つて曰く『タウンシエンド將軍に依つて率ゐらるゝクト、エル、アマラ駐屯の英軍は印度軍の主力で歐洲動亂勃發の當初即ち一昨年十一月頃波斯灣に上陸しチグリス河の岸に沿うて波斯方面の露軍と聯絡を保ちながら前進し遂に昨年の初めクト、エル、アマラを占領して

△此處に根據地 を置いたので爾來土軍をして波斯灣方面に進出する事を得ざらしめ英軍も亦後方勤務の關係上餘り深く侵入する事が出來ない長く對陣せねばならぬやうな狀態に立至つた、然るに昨年十二月末バルカン方面に於ける獨逸が勝利を得た結果、獨土兩軍に確實な聯絡が保たれるやうになつて以來土軍は之に非常な勢ひを得たのと其上ガリポリ半島に於ける英佛二十萬の大軍が撤退するやうになつた結果該方面に向つて居た土軍は其一部をタウンシエンド軍に向はせるやうになつたのでタウンシエンド軍は聊か

△土軍に壓迫 される樣になつて一時クト●エル●アマラから更に進んでアジジエを占領しクトシフオンの戰鬪に於て敵を破つたに拘らず退却を餘儀なくせられて昨年十二月八日より重圍に陷つて居るのである而もタウンシエンド軍には何等の增援隊を見なかつたが其後土軍が六師團の兵力をクト、エル、アマラに集中せしめて來たのと一方には波斯方面にも軍隊を前進せしめてシケルマンシヤ附近の占領を確にしてより英國は此方面を輕視するに忍びずして從來

△印度總督の名 によつて指揮して居たタウンシエンド軍を爾後本國陸軍省の直轄に置き遂に佛蘭西の戰場にあつた二個師團の印度軍を引揚げて波斯方面に使用するといふ事になつた、增援軍の指揮官はエールマー將軍で本年一月中旬波斯灣に上陸し、チグリス河に沿うて前進しクト、エル、アマラを距る十里內外の地まで接近する事が出來たが何しろ道路が惡いのと優勢なる土軍の爲めに阻止せられてどうしても前進する事が出來ない、其故に

△現在の增援軍 は甚だしく不利の狀況ではないが少くとも重圍中のタウンシエンド軍を救ふ見込が立たなかつたのである、思ふにタウンシエンド軍の降伏は包圍されてから約百四十日の長時日を費し糧食盡き彈藥缺乏して此處に至つたのであらうと推察せられる、一體から云ふと高架索及び波斯方面に於ける露軍は非常に優勢で今やベーブル、マ、カツムの西方とワン湖の西南方に進出して該方面に於ける土軍を漸次西方を壓迫しようとして居る傾きがあり就中ワン湖の西南方にはクト、エル、アマラとバクダツドを通ずる道路即ちメソポタミヤに策戰せる土軍の後方聯絡線に迫つて著るしく脅かして居るが故にタウンシエンド軍にして今暫く持久して居つたならば

△露軍によつて 或は自然軍團から遁れる事も出來たらしい今迄土の月日守つて居た地をオメ／＼敵軍に蹂躪せられる事も免れたであらうに、此點から考へて見るとタウンシエンド軍が降伏するやうになつたのは實にやむを得ない結果であつて同情に堪へない次第である

□臺灣より一信

臺北にて　工藤　文哉生

四月廿二日發船以來海上は平穩にて兩三度ガスに逢ひたるのみにて候。綠深き森蔭を行く人も見えて八百海里我船路果てぬ。朝來隆港に著三十日の一月を三十五日雨降るといふ此地の御多分に漏れず細雨の裡に上陸仕候（四、廿六日）

○

共進會一瞥仕候、阿里山は臺灣の代表者と聞きし丈に共進會に於て阿里山の利用最も至れる如く其次は纖維工業かと存候也（[illegible]日）

○臺北市街の[illegible]

珍らしと[illegible]

驛にらつゝ[illegible]

相思ふと樹の名[illegible]

細き雨降る[illegible]

臺北にて

・

時折田舍へ入り込みて見[illegible]仕候も格別に珍らしき事も無之[illegible]存じられ候。沿線に大仕掛の事は大抵出來居りズット奇拔の所を求むれば蕃界に有之候得共。日數の掛るのと暑いのとで十分に見る隙は無之候。臺灣の田舍の景色にても御紹介致度存候處生蕃近傍となる[illegible]にて失念致候事と御諒知願[illegible]（廿九日）

京[illegible]

○[illegible]　芳洲

暗香吹枕夢魂清。[illegible]限情。[illegible]天。自梅花多處[illegible]。參橫月落[illegible]鳴。

評曰　風調諧婉

○春寒　[illegible]

雨細風尖斷魂。輕寒篩幔又黃昏。殘梅有恨吹將盡。一曲江南笛裏村。

評曰　悽絕

○福溪閒居　宮澤　雲堂

時向溪頭伍釣徒。短衣輕笠奚吾思。歸來梅月映窓紙。淡墨縱橫成畫圖。

評曰　淡雅成趣

門外柳絲低拂塵。微風燕子雨餘香。李翁張老隔牆住。共種桃花似避秦。

評曰　幽境可想

○搭洞雅會席上　武田　魯石

忘機如此復無多。搭洞催春吟且哦。有酒十千須盡醉。毛公能舞呂君歌。

評曰　盛興可想

○同上次韻　齋藤　三寅

搭洞公園雅趣多。避塵亭上競吟哦。一斗百篇無限興。悦然身在[illegible]歌。（此日會者八人）

評曰　豪懷奇興可[illegible]

日報歌壇

□　京城　沼上　文泉

君去りて淋しきこゝろゆくりなく朝鮮の野を選びけるかも

□春雨　京城　萩[illegible]

軒下に二羽の雀が泣きもせずふくらみてあり春雨のふる

□　京城　美田　澄子

いとせめて同じ天地に同じ世に生ある事を慰めとせむ

何となくへだてあるかに友のいふ君てふ御名を知り初めてより

□春雨　京城　晋　水

春雨のそぼ降る朝は見ゆるものなべて懷かし海棠の咲く

西都の妹へ　永登浦　井上　葉吉

微醉ひにチユーインガムの香よき人間でなき心地するかな

年若き女の髮に光る櫛それもかなしき一つなりけり

ちらと覺えし淋しさのあはれも直に消えて仕舞ひぬこの[illegible]

低級と罵りつゝも友達と[illegible]見に行きし我

裏山にふと來て見にきいつからのあの新らしき墓を見む爲

いとしやな妹等よ兄は斯ぞ願ふ豪き男を夫と定めな

大阪期米特電（三日）

七月限　八月限　一三、七〇　一三、四五　一三、八九

▲後場焦げ付き[illegible]大阪の武行は[illegible]を報じ居るも當地は別段人氣に影響せざる者の如く要するに騷動は大阪大阪の報[illegible]に報にたる後[illegible]

▲後場　中限（四）十一圓四十錢　北海道大豆[illegible]

均値段　一二三四節　十一圓七十錢

諸君先んぜよ

愈々本日製本出來

■マスター、オヴ、アーツ男爵神田乃武先生
■法學博士、農學博士新渡戸稻造先生
■ヘラルド、オヴ、エシア社長頭本元貞先生
監修
■三省堂編輯所編纂

新々英和辭典

（見本全國各書店に在り）

待ち設けたる新々英和辭典出づ、父兄及學生が完全なる發音假名付英和辭書を要求せる時、本書は恰かも渇せるものに水を與へたるものなり。●本書發表以來未だ旬日ならざるに全國各地の註文殺到せり。此絶大なる盛況は眞に本書の貴重なる所以を證明するものなり。諸君よ速かに本書を手にせられん事を。

價格　三萬部限特價提供　特價金壹圓　正價金壹圓參拾錢　送料內地金八錢　紙數千四百七十頁

東京　株式會社　三省堂　神田
振替東京三一五五五・電話本局七二二・一七四九

白韓書房

新版報告

十川杏村著　生物哲學　定價一圓　送料十錢
笹井茆明著　佐久間象山言行錄　定價三圓　送料十錢
露津賢金著　碧巖物語　定價二圓　送料十錢
生田蝶介著　女百態　定價三十五錢　送料六錢
水野葉舟著　ハガキの書方　定價六十五錢　送料六錢

京城本町二丁目　電話一一七五　振替口座五四二一二

新日本

三十名家の東京市電車觀…問題の光瑞伯…近藤泥牛
◎東西角力漫話…水谷竹紫
▽成金傳…浪人
▽狸腹鼓…中村博士
◎阿蘭陀船…史劇…綺堂
舊式外交より新式外交へ…大隈伯爵
戰後の事業界と日本商品…氣賀博士
支那大觀…永井柳太郎
▽第三帝國論…今岡博士
日本紙業の將來…佐伯博士
▽英國の二重內閣制…山崎宗直
文明の…ヴエルダン戰のローマンス
巨大なる化學工業の利源…鴨居博士

五月號　定價廿二錢　東京小石川　富山房　振替一一

好評　新絹表紙和裝　四版　旭將軍鈴木五段案

新撰　圍碁全集

初段實力試驗　新圍碁詰石　定價金五十錢　送料四錢

定石　布石　詰碁　打碁

大阪屋號　京城本町　振替二五七三

本號添附　小亞細亞戰局詳圖

歐洲戰爭實記

■ヴエルダン要塞戰…（其他戰況詳報）
▲佛軍に加つて獨兵と戰へる實驗談…モーレー
▲砲彈下のヴエルダン…アーサン
▲歐洲大戰亂の結果壯丁の減少の影響…ジヨール
▲二十世紀のナイチンゲール…ペチヘン
■袁の沒落と我が對支政策の將來…根津一

第四十六號　四月廿五日發行　定價廿錢　東京　博文館

模範的編輯法に依る唯一の理想的　世界最新の社會雜誌

日本一

惡醫師取締問題…社論
▽日本一の養生法…志賀重昂
▽世界の大獨逸の運命…浮田和民
▽桃太郎之海外發展…新渡戸稻造
▽三億弗の樂隱居…小野主筆
▽總監の大英斷…藝妓檢黴論の反響
▽地方青年及都市青年…早川千吉郎
▽滑稽看板物語…鵜山敦授
意外錄…和田垣謙三
溫泉懸賞當選投票氏名發表
小唄供養…小杉天外
▽山中鹿之助…松林知識
▽大正水滸傳…江見水蔭
お園の述懷…貞山
▽三勝七屋…一門の刑…小金井蘆洲
▽半小說…一女不二…渡邊霞亭
▽我四千萬窮農民の根本的救濟案…本誌記者
▽日常飲料投票募集…三大計畫發表
奈翁の眞骨頭…福本日南

定價拾貳錢　送料一錢五厘　半年…　發兌　東京牛込　南北社

グラス萬年筆

朝鮮總代理店（目錄送呈）　京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五〇　振替京城二三五六

特約店　京城本町二丁目　町田商店

支那人の理想と將來の統治方針…內藤博士
世界に於ける日本の地位と對外…加藤男爵
袁退位後の支那は如何…寺尾博士
安眠法…醫學博士　三浦謹之助
支那革命の將來と我國民の覺悟…福島大將
世界之變局我黨の政策…原敬
歐洲戰爭後の經濟界…チアール
現代青年男女と結婚難…覆面學人
米國は何故の軍備擴張乎…ニコラスバトラ
日本の地位…小寺謙吉
を要す…
財政問題と吾人の主張…若槻禮次郎
夏季に於ける健康法…高木醫博士
袁に退位を勸告す…社長　安藤三郎
戰爭小說　戰場の美花…石川香三

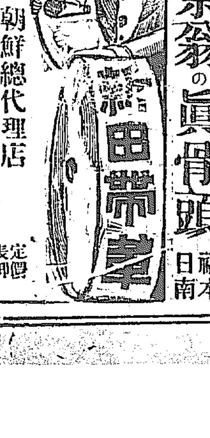
世界公論

五月號　定價六拾錢　一年共和紙七圓

東京市小石川大塚　世界公論社　振替東京二六八六

帶革各種　パツキング　ピツカー　生皮商車　綴革組金具　其他工業用諸革

品質保證在庫豊富



朝鮮總代理店　鐵商　白神洋行　仁川本町四丁目

定價表御一報次第送呈

○陳宦最後の警告
―第三第七兩師團引上を要求す―

陳宦と蔡鍔とは成都に於て公然其の代表者を會見せしめ種々協議し居れるが總統の態度如何にては直ちに獨立を宣言すべし而して最も切迫せるは曹錕及び第七師團と陳宦との不和にして陳は袁總統に最後の警告を發し來る六日迄に第三第七師團を引き揚ぐべし然らざれば討伐すべしと聲明したり(上海特電)

○米國對獨回答發送

獨逸の對米回答は既に脫稿し二十七日夕刻華盛頓へ向け發送せられし筈なり(倫敦電報)

○露兵馬耳塞に上陸

第四回露國輸送兵は佛國馬耳塞に無事上陸したり(桑港電報)

○佛軍新地域占領

佛軍はゼーオーモンの東南に於て五百五十碼及びモルトム丘に於て六百碼乃至一千碼の地域を占領せり(桑港電報)

○英船擊沈

英國汽船イーグサ及びナストリチヤムの二隻は獨逸潛航艇に擊沈せられ船員十三名死亡したり(桑港電報)

○樞密院會議

三日は樞密院會議定例日に付き宮中東溜の間に於て會議を開き芳川副議長以下各顧問官參集し聖上陛下の出御を奏請し左記御諮詢案四件の審議を爲したり

一、議院法中改正案(貴衆兩院守衛長奏任昇格の件)
二、文官任用令中改正の件
三、朝鮮公立普通學校長特別任用の件
四、臺灣總督府圖書館長特別任用の件

尙同日內閣より一木內相、尾崎法相、高橋長官出席各案の說明を爲し質問應答の後可決芳川副議長より其の趣き闕下に伏奏し御裁可を奉送の後一同散會したり(東京特電)

○製鐵調查官制

製鐵事業調查會官制は四日附官報を以て公布さるべし(東京電報)

○師團事務引繼

新設第十九師團の事務は從來第一師團に於て受理し來りたるが同師團幹部以下の編成完了したるに依り今回同師團事務を龍山司令部に移せり(東京特電)

○第三大隊著發

步兵第七十七聯隊第三大隊將卒六百四十三名は三日午後五時堅平丸にて元山著四日鐵道にて所屬營地へ出發の筈(元山特電)

◎石原次官檢分

石原宮內次官は三日午前四時平壤著柳屋旅館に投宿八時道長官、府尹警務部長の案內にて瑞氣山に登りて四邊の風景を展望し九時自動車にて牡丹臺に至り離宮候補地の檢分を遂げお牧の茶屋にて茶菓を認め古器物を觀覽し午後一時三十分歸京の途に就けり(平壤特電)

◎小松原氏著壤

東洋協會長小松原英太郎氏は三日午後三時來壤官民有志の歡迎會に臨みたり(平壤特電)

◎滿洲の邦人農業
―副業として養蠶の獎勵―

滿洲には極めて少數なるも關東州內鐵道附屬地等に農業經營を爲す邦人あり其の多くは片手間の仕事として營み居るも今日迄の成績を見るに滿洲に於ける邦人の農業經營は勞多く功少なく收支相償はざるもの比々皆然りと言ふも過言にあらず滿鐵保護の除隊兵士の移民的農業はその保護の如何に比較的成績を擧げ居る方なるも他の邦人農業は概して失敗たるを免かれず失敗の原因は種々あるも支那人農業に比し多額の費用を要し如何に生活費を節減するも金利其他の關係上資金を要する割合に生產力乏しく隨つて收益多からずといふが其の重なる原因と認む都督府當局にても深く此點を察し其の救濟策として養蠶其他の副業を獎勵し猶ほ低利資金融通の便を得せしめん爲め邦人農家一致の下に生產組合を組織せんとの議もあれど數少なく其の所在地も散在せる有樣なれば組合組織の上に困難なるを免かれず差當り本年よりは蠶種其他の副業を獎勵し桑苗等は無代にて配付し產出品の販賣に就いても當局において能ふ限り力を藉すことゝし一面又た邦人農家を激勵し新作物の試培等をも爲さしめ居れり因みに過日來滿せる長野縣下の農民は其後金州大魏家屯の農村愛川村に在りて當局指導の下に熱心開墾に從事し居れりと云へり(大連)

◎耕地四百萬町
土地調查局實測の結果

朝鮮地租課稅の基根となるべき土地調查局の耕地面積實測は此程來大に進捗し筆數は合計約千九百萬筆にて課稅地面積は調查開始當時約三百七十萬町步內外の見當なりしも漸次增加し來り目下の所四百萬町步を超ゆべき模樣なるが筆數面積共に慶尙北道を以て最とし全南京畿慶南全北等之れに亞ぐべしと

◎平壤牛と關東州

關東都督府に於ては夙に平壤牛の聲價を聞き州の牧畜に付き平壤牛を以て種牛となさんことを計畫し五月二日都督府囑託宮脇稼一及び金崎明治郎の二氏來壤牡牛二頭及び牝牛一頭の買入方を道廳に依賴せり聞くところに依れば都督府に於て試畜の結果良好の成績を收め得ば每年多數の買入をなすべしと(平壤)

◎東拓地主移民
本年は八十戶募集

東洋拓殖會社の第二種移民乃ち地主移民の募集に付ては會社にて過日來詮議中の所愈々決定一兩日中に發表の筈なるが其の收容地は南鮮方面を主として各道に亙り戶數八十戶なり尙ほ第二種移民は十町步の土地を貸附し移住當時其の地價の半額を會社に納附し殘額は七分五厘の年利を負擔しつゝ廿五箇年の年賦償還となるものにて昨年より募集を開始したるものなり

◎泰川水利擧式

東洋拓殖會社にて施設せし平北泰川水利事業竣工せしを以て五月下旬頃同地に竣工式若くば通水式を擧行する由なるが會社にては京城新聞通信記者の有志を同地に招待し其の視察を乞ふべき計畫ありと

歐洲戰後の財政經濟(一)
―聯合國經濟會議の要因―
參列委員長 阪谷男爵談

三日夜朝鮮ホテルに於ける招待會の席上阪谷男が謝辭として述べたる卓上演說の要旨左の如し

▲開會の時期 聯合國經濟會議が巴里に開催せらるゝに付て如何なる問題が提議せらるゝであらうかとは列國の新聞にも種々報道せられ學者間にも種々意見がある。此の經濟會議たるや却々に其の攻究すべき範圍が廣いのであるが、併し愈々列國が此の會議に鑑くの問題を提議するかどうかは、未だ明らかでない。而して聯合會議は、旅程を斟酌して、六月の初めに開かるゝ樣に承知して居る、此れから行けば恰度適當の時に到著する豫定である。

▲會同國と代表者 經濟會議に會同する國は、佛蘭西、英吉利、露西亞、伊太利、並に日本であつて、尙此他に葡萄牙、白耳義、塞耳維が加入するとになるであらうとも謂はれて居るが、此れは確かに決定したかどうかは承知せぬ、又各國の代表者としては、未だ公報には接して居らぬが、伊太利では總理大臣と外務大臣とが出席し、佛蘭西よりは商務大臣、英國よりは商務院長官、露國よりは前會計檢查院長等が參列する筈である。

▲開催の動機 抑も此の聯合國經濟會議なるものは、如何なる動機より起つたものであるかは、確かな所を知らぬが、昨年六月頃より、獨逸墺太利が中部歐羅巴關稅同盟の必要を感じて之を計畫し之を世間に發表し、その關稅同盟は其の後未だ成立して居らぬやうであるが、獨墺側の此の計畫に對して、聯合國側に於ても亦同樣の計畫を立てねばならぬ事情に迫られた結果此事あるに至つたかと承知して居る。

▲武力戰と經濟戰 今日の戰爭は、武力の戰爭と經濟の戰爭との二つの性質を具へて居る、而して武力の方面に於ては獨逸が何日も攻勢を執つて居るやうであるが、併し乍ら經濟戰爭に於ては、聯合國側が餘程自由の地位に居るやうで、獨墺二國を充分に經濟的に包圍して居る。從つて獨墺側に於ても聯合國側に於ても、双方共に經濟力を今後一層蓄へて固にせんと欲するは勢ひ免る可らざる次第と謂はねばならぬ。

▲經濟會議の三性質 巴里に於て今回開かるゝ經濟會議も、無論列國が既に執りつゝある經濟上の問題を攻究するのみならず、更に一步進むべきものあらば進め、更になほ戰後の事をも用意して置かうといふのであらう。即ち此の經濟會議は性質上三つに別つことが出來る、第一は戰時中の事、第二は戰後の整理時期の事、第三は更に整理後の經營につき商議せんとするものと見て可からう。其等の事は佛國政府よりも提議するであらう、其他の聯合國よりも提議するであらう、又我國よりも提議する事となるであらう、兎に角日本と歐洲諸國とは、多少事情を異にするものがある故、總ての問題について步調を一致し得るや否やは、大に攻究を要する所である。我邦としては、此際成るべく聯合國の爲めに計り、其れと同時に聯合國側も亦日本の立場を考へて計つて呉れるが當然であると思ふ。

◎京畿長官訓示(上)
府尹郡守打合會に於て

京畿道府尹郡守打合會第三日は午前八時より開會前日に引續き諮問事項の答申を爲したるが午後は松永長官より大要左の如き一場の訓示を爲せり

道新政施後に於ける第六回の府尹郡守會議を開き親しく各位と一堂に會し管內の狀況を聽取し併せて各位の意見を徵するの機會を得たるは本官の深く欣幸とする所なり

本官は乏しきを本道長官に承くるや當時恰も道長官會議其の他に忙殺せられ尙赴任以來日淺きを以て未だ親しく府郡の實情を視る能はざるも大樣從來の計畫に基き既定の方針に依り益共に之が研究を重ね以て道治の進步改善を圖らむとす蓋し朝鮮に於ける地方行政は其の細目に在りては各地の風土民俗に應じ必ずしも一規に之を律することを得ざるは勿論なりと雖も其の綱領は凡て總督施政の大方針に歸一するものなり各位は宜しく此の意を諒し近くは過般道長官會議に於て訓示せられたる趣旨を體し一層奮勵努力し以て地方行政の發達改善を期せられむことを望む而して今茲に本年度に於て施設せむとする重要事項に就き梗に示す所あらむとす

地方費及び臨時恩賜金事業は逐年著しき發展を來し本年度に於ては地方費總額三十九萬二百二十八圓恩賜金亦實に卅三萬八百八十七圓の巨額に達し此等の經費は總て地方に於ける土木、勸業、教育其の他救恤、衛生、消防等の事業に充て殊に本年度に於ては恩賜金授產事業の根本的改善を行ひ新に京城恩賜授產機業場を設置し京城恩賜授產製絲場を除く外郡部恩賜授產場に於ける經費を全部之を廢止し從來之に要したる經費を地方產業の補助獎勵に轉用することゝせり是從來恩賜授產場に於て養成したる人員今や一千六百餘名の多きに達し稍初期の計畫を遂行し得たるが故に今後は主として地方一般產業の直接指導に力を致し以て普く恩賜の惠澤に浴せしめ現實なる生產の改良增加の途を講ぜむとする趣旨に外ならず又地方費に在りても優良蠶種普及の目的を以て新に原蠶種製造所を設置し且蠶業講習所を設けて授產場修了者其の他蠶業に經驗ある者に對し一層專門的技能を授くることゝし又更に郡產業技術員を增置して產業の實地指導獎勵を周密ならしむることを期す各位は宜しく此の趣旨に依り其の實績を擧ぐることに努むべし

◎軍醫正の轉任

京城憲兵隊司令部附早川軍醫正は廣島衛戍病院附に轉任其の後任は新に陸軍三等軍醫正を拜命せし伊藤賢二氏なりと

◎聯絡會委員
水原模範場視察

入京中なりし日露支連絡會議は三日議事進捗の爲め休會し各國委員一行は鐵道局の案內に依り午後一時十分南大門發臨時列車にて水原に赴き模範場視察を爲し折柄の花を賞しつゝ午後五時十五分南大門に歸著せり

◎阪谷男歡迎會

聯合國經濟會議參列委員長阪谷男一行の歡迎會は三日午後六時半より朝鮮ホテルに開催せられ當夜招待せられたるは阪谷男以下鶴見、矢部、田中三補佐委員及び隨行の飯塚大西の兩氏にして參會者は石塚農商工部長官、勝田鮮銀總裁、野田東拓副總裁、荒井度支部長官、宇佐美內務部長官、鈴木土地調查局長、松寺檢事正、井上、村田兩東拓理事、森安博士、水越、木村兩鮮銀理事其他官民有力者約百名にして七時大食堂を開き宴酣なる頃石塚長官は來會の官民一同を代表して男爵一行の使命の重且大なるものあり自重自愛して邦家の爲め盡されんことを乞ふ旨の挨拶を爲し阪谷男は來賓の爲めに乾杯し之に對して阪谷男は謝辭を述べたる後戰後の經濟に關し一場の演說を爲し(別項に大要を記載せり)て主人側の爲めに乾杯し撤宴後別室にて寬談し十時過ぎて盛會裡に散じたり

◎阪谷男出發

阪谷男一行は四日午前七時十分南大門驛發鮮滿急行にて渡歐の途に上る

人事消息

▲稻田四郎介氏(李王職事務官)二日夜內地より歸京
▲大池忠助氏(朝郵取締役)三日夜入京巴城館に投宿す

南言北語

此の頃氣候の勢で大分頭を惡くしたり身體が弱つたりして市中の按摩さん連が大繁昌だと云ふ事だ▲氣候と人間の精力との關係に就て米國のハンチントンと云ふ學者が一種の學說を發表して居る▲其の要領を擧げて見ると北米の工場で實驗した結果によると溫度が二日續くと工業上の成績が宜しくない▲變化があれば其處に刺戟があるので活氣が出る何としても氣候の變化が人間の精力に影響する▲但し溫度が四度から十度降るといふ程度の變化が一番人間を働かせるに適して居る▲且つ空氣の乾濕如何を研究すると人間の全力を活動させる事には濕氣の多い時が可く乾燥は四時共に不可である▲乾燥は道德上にも工場にも學校にも惡影響を及すのである要するに氣候の刺戟變化が文明の進步に大關係を有する▲印度羅馬の文明が衰へたのは氣候の變化が缺げて居た爲であると論結して居る鳥渡した事だが成る程面白い學說だ▲江原素六翁と云へば例の廢娼論の驍將で大阪飛田遊廓問題などに對しても熱心に反對して居る▲處で翁には面白い珍談がある▲大分以前の事だが翁は一日吉原見物に出掛けた▲而も眞ツ晝中であつたので閑古鳥でも啼き相な淋しさに驚いて立ち歸り▲彼の樣な處へ遊びに行くとは妙だね、と大に不審を抱いて居たと翁の廢娼論が出ると何時も此の話が出て大笑になる相な▲今度三重縣知事に新任の永田秀次郎君は內務省で有名な文才で熊本縣在任時代九州旅行中の友人から歸途立ち寄ると云ふ通知があつた處で友人は俄に旅程を變更して終に來なかつたので『來るか〳〵と待たせて置て通り過ぎたか夏の雨』と云ふ一句を送つて以來▲地方官間に文名を馳せる樣になつた相な▲殊に俳句などは故子規の門弟で新派俳句界でも相當に名が著はれて居る▲新任地三重は風色に於ても頗る宜で居るのみならず▲風流雅懷の名士が大分出た處だから今度の地方官交迭中永田君程頗る適當の任地を得たものはないと內務部內でも大分の評判だと云ふ

巴里の舞臺の ―題は何―

三日夜阪谷男一行の歡迎宴で主人側として男の近くに席を占めた野田大塊翁は卓子の上に飾つてある滿開の櫻花を見ながら例の調子で早速に一句を浮べて獻立表の裏面に『花役者巴里の舞臺の題は何』と認めて男に示すと男は頻りにニコ〳〵し乍ら鉛筆を走らして答へるには『大根と呼ばれぬ先の杖は何』此の有樣を見て居た勝田鮮銀總裁『何なと云ふは何より花の春』と彌次る、とう〳〵再び大塊翁の處にメニューが廻ると翁は今度は眞劍に『送阪谷男』と題して扨曰く『花に送る君が土產に圍まむ』

朝鮮總督府
一塊炭八拾萬斤右購買ス詳細ハ五月三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

地所家屋競賣
京城南米倉町貳拾貳番地(舊魚市場)
土地、百坪、同上建物木造瓦葺平家壹棟、貳拾貳坪木造亞鉛葺壹棟地面石張四拾坪
京城南大門通五丁目六拾八番地(舊魚市場跡)
建物木造瓦葺二階建拾四坪六合貳勺
同平家貳棟五拾參坪五合參勺
同亞鉛葺平家建附屬共參拾貳坪貳合
右本月十日午後參時旭町一丁目京城日丸水產株式會社市場ニ於テ競賣ス
此保證金壹割
詳細ハ京城日丸水產株式會社內伊熊延ニ御承合ノ事
大正五年五月二日 株式會社京城水產物市場 精算人 山口太兵衛 中村再造 關繁太郎

臨時入札會
見眞大師蓮如上人名號(鑑定書由來書付)
道榮書、福澤先生書、常信家三幅對(大倉好齋極め付)
熊飛花鳥、文晁若色山水、朱紫石花鳥
春水書、等叔人物、山陽書細字三行
刀劍備前景光、忠吉大小作付揃
藤原國吉、國正立大小揃、清光、吉道、吉定、忠廣、長光、宵江下坂、國次、支
其他數十點某家より依托相成り候三日より四日午後七時迄下見七時より全部成行にて入札競賣仕候間御高覽被下度候
入札は六日下見七日開札致候
南山町三丁目 佐々木聚古堂 電話三三三番

タングステン
用手廻搗鑛機及大マグネット
中根式鑛山機械は始政五週年記念物產共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮唯一の鐵工界に於ける最初の受賞者たるの光榮を得
京城南大門通五 電話一〇四番 中根商會

鬪球盤
代理開始
何人にも快活で面白い
高尙の遊戯はコレ

發賣元 東京 大一商店
朝鮮代理店 京城本町二丁目 シノサキ商店 電話三〇三番
定價表は御申越次第贈呈す

院長醫學博士 緒方正清
大阪今橋 緒方婦人科病院
X放射線科 ラヂウム科
電話本局 一一九八四番 一一九八五番
內務省指定 緒方助產婦教育所
●產婆生徒 本科每年十一月 別科隨時入學

大路本店
履物問屋 井筒屋田中商店 大路本店
大阪市御堂筋北久太郎町
電東百十九番 振大阪一四一八八
御一報次第相場表御送付可仕
大阪履物新進會ニテ每月一回定送付ハ特約可致候

京城春川間自働車運轉
京城發午前八時。春川發午前九時
京城南大門通一丁目二十二番地
廣橋京春自働車組
電話二一九番 主務 金正淵

食料品
よい品を安く賣る店
京城旭町 川西商店 卸部 小賣部
電話長一三六七番 振替京城一一一番

新刊書御案內

書名	著者	定價
正續机上便覽	川岸錢岳	一、二〇
春淋論集	鵜澤總明	一、八〇
新英雄主義	茅原華山	一、〇〇
生物哲學	土田杏村	一、〇〇
滅び行く街學及び人類	兒玉昌	一、四〇
意志の力	安田榮次郎	六五
生きんとするの努力	大住嘯風	九五
禪の立場から	鈴木大拙	八〇
縮刷思出の記	德富健次郎	六五
浮城物語	矢野龍溪	九〇
世界戰爭の奇劇	ナフロコフ中將	六〇
犯罪哀話	松崎天民	八〇
藝者の裏をもて	神樂阪ますや	五〇
動物交尾の話	一瀬桂主人	四〇
女と戀	風來山人	五〇
佐倉宗五郎	長編講談七編	三〇
天一坊村井長庵	同 六編	三〇
四季家庭園藝	酒井伯博	一、二〇
怪人怪光	淡路呼潮	四五
少年斥候	原田中尉	三〇
名金	エーマーソン	五〇
快漢ロロ!	浪野怒濤	五〇
御即位式勅語述義	加藤咄堂	四五
自白生活	瀧本梧子	九〇

京城本町 大阪屋號書店 電話二〇八六 振替京城二五七三番

仁川本町 綿布洋服卸問屋
目品 絨綿布 製品 厚司 工服 各種 メリヤス シャツ 類 縮綿 晒 木綿 手巾 タオル 手拭 洋傘 信玄袋
電話四七 振替京城
京阪洋行 藤野福助商店

◎釜山水產四月水揚 釜山水產會社四月中水揚總高は五萬七千…弱の增收なれ共四月迄旬迄の市況に準ずる時は當月中の水揚額は…より三割增…入漁船數は三千九百九十七…於ける移出鮮魚率は市場買の五割…移出盛況を見るに至れり今後盛漁期…ことゝて比較的市價は好況を呈す

…同署樓上に召集し五月一日より施行せらるべき取締規則に就き縷々訓示…

…柱に揭げありし看板を取り外し更に門燈を下より開き上げ地上に墜して…車夫黃仁秀(三一)は四月二十七日午後十一時頃何處で飲んだか泥醉して…

◎千二百圓の拐帶 鹿兒島縣…岩川村荒物商中禮權四郎長男佃次郎(二〇)は三月三十一日…

……ひらめ一萬零八百二十三圓、鯵……百七十二圓、鯖五千三百餘圓等なるが之れを前年の當月に比すれば一割……收に過ぎざりしが市場の價格は……は比較的好況を呈せり漁獲……數は……は三月頃より其率昇上なし四月中に……足を來したる結果に依り朝鮮鮮魚の……

阪谷委員長一行の歡迎宴（後方中央起つて演說しつゝあるは阪谷委員長）

方法としては朝鮮移民の奬勵は慥に一策と思ふ、斯くして朝鮮の農業を開發し內地農民救濟の一端とするならば結構な事ではないか

◇勸業債券は年々　二千萬圓以上消化

ゐたが昨年來資金の缺乏を感せぬ爲め公募を差控へてゐる、朝鮮よりの應募は每年三萬圓乃至四萬圓で其の消化力は頗る弱いものでした

◎若しうなれば結構
朝鮮へ移民奬勵＝志村勸銀總裁談

前額が大分ぬけ上り連日の旅行で色をあげた志村勸業銀行總裁流れる樣な能辯で語る、朝鮮には私の銀行から直接少しも金を貸し出して居らぬ併し內地で不動產に融通した金が

◇朝鮮に流入し　乃ち間接に使つて貰つて居る資金は決して少なくない今回少く隙が出來たから其の成績を視たり乃至未知の鮮滿を見學するのが私の此行の目的である、來て見ると朝鮮の實情は聞いたり讀んだりしてゐたのとは大違ひ大體に於て各地共母國人發展の勢ひ頗る盛んなのに驚ろいた次第です、金州光州木浦群山と湖南沿線に入り込めば隨分不便だらうと思つてゐた事實は結構な旅館があり交通機關があり又多數の內地人があて

◇全然內地な旅行　してゐるやうな氣持ちな鷄林八道に足を踏み込んでると云ふ樣な氣分になれなんだのは一寸自ら奇異だとも考へたが之れ朝鮮の大に內地化した所以だらう、併し朝鮮の景色は山水に於て頗る單調である此の單調な山水を眺め多き景趣とするには植林が肝腎である山は朝鮮に多いと聞くから植林さへ成効すれば立派な景色に變ずるだらう唯水は鮮地方殊に全羅北道の大平野を見て決して內地に眺められぬ感さであり又

◇白衣の朝鮮人は　哀れに私の眼に映る

大陸的の點あるを面白く思つた蘭のやうな小さい家、ゴタ〳〵した家の內の模樣、如斯貧しく生活して人生の快樂何處にあるやを感ずる、又鮮人を茲に至らしめた過去の暴政の凄じかりし事を追想して見た幸ひに彼等も吾が皇威の下に立つ事となり總督の新政に蘇生の思ひをしてゐるだらうが今後其の精進勤勞の風を養成するのは母國人の責任であらう、私が鮮滿各地を巡歷するので何か今後勸銀が直接

◇鮮滿地方に活動　鮮銀や東拓や正金と互ひに相競爭するだらうなどと南鮮方面の新聞に書いてゐたさうだが其麼事はありません朝鮮はまだ農業本位の土地だから農產の增加を圖るが其の富力增進の最捷徑だらう內地人農民を鮮人の間に移植し實地に農上の改良等を敎示するのは鮮內農產物の增收に効が少なくないと信ずる又移住の餘地も

◇私の觀る所では　決して乏しくない

聞い話しが內地で水田一反は三百圓もするが朝鮮では僅ほ四五十圓で買へるといふ乃ち六分の一內外の安い地價である、內地は最近工業の殷盛に連れ農村疲弊の聲が高い其の救濟

◎二松學舍へ一萬圓御下賜
▼創立四十年の記念式

文學博士三島毅氏の創立に係る東京麴町區一番町の二松學舍は時流の上に超然として漢學專攻東洋文敎の普及に盡力する事

▲實に四十年　に及びたるを以て去月三十日築地水交社に創立四十年記念式を行ひ併せて昨年畏き邊より學舍維持費として金一萬圓御下賜せられたる恩賜奉戴式を擧行したり午後一時頃に至るや來賓として土方伯爵、大迫陸軍大將、橫田大審院長、平沼檢事總長、奧田東京市長、澁澤、三井（八郎次郎）大倉各男爵、犬養毅、白鳥、杉浦兩東宮御學問所御用掛、土屋鳳洲、花井法學博士、林文學博士、湯本武比古氏其他

▲朝野の名士　二百餘名出席すやがて午後一時三十分同學舍經營に膺れる二松義會長、入江爲守子の式辭あり次いで土方伯、澁澤男、奧田市長等交々起つて祝辭を述べ畢るや今年八十七の高齡に達せる同學舍督學三島中洲翁は病中にも拘はらず流石に喜色面に溢れて來賓祝辭に對する謝辭を述べられたるが式終了後祝宴の催しあり夕刻散會せり（東京）

◎裡里の御大典活動寫眞

本社支局每日申報支局主催御大禮謹寫活動寫眞は二日午後三時裡里にて開催小學生徒二百名普通學校生徒百六十名を主なる拜觀者とし夜間は一般拜觀者を以て充滿し二回共立錐の餘地なき盛況なりしに拘らず何等の混雜もなく無事終了したるが拜觀者には多大の感動を與へたり（裡里）

◎王懷仁知事の財貨掠奪
蒲石河に現はる

既電の如く部下巡警百餘名を率ゐて逃走せる王懷仁縣知事は二日朝安東縣を距る三十里餘の蒲石河に現はれ巡警、防隊等を選び銃器八十餘挺彈藥四萬發其の他巨額の財貨を掠奪せりとの報三日支那官憲に達せり（安東縣特電）

◎宙に迷つた活動寫眞
盜難とは眞赤な嘘

大阪天下茶屋に大日本皇道立敎會なる本部を設立し敎會長に中山香若を戴き同會義勇團長鎌田爲次郎同會活動寫眞部朝鮮特派員平野禎吉の團員等は多數の辯士、技術員等を同伴し

▲滿洲各地を興行　し廻りたる末四月中旬頃京城に乘込み有樂館に於て活動寫眞開演中寫眞機及び附屬品（二千七百圓）盜難に罹りたる旨所轄本町署に屆出でたるに依り同署に於て取調べの結果右は事實盜難に罹りたるものにあらずして鎌田は以前滿洲にて興行中仁川宮町土木業澤熊一郎に機械道具一切を貸與することを契約し手附金として同人より金百五十圓を領收し居れり然るに京城總町一丁目居住の興行師中山八五郎は豫て右の活動寫眞を手に入れて一儲けせんものと決心して態々上阪し同會本部に

▲敎會長を訪問し　諸機械及び附屬品一切一組を讓受くることとなりて即金八百五十圓を會長に提出して歸鮮し來り當時前記有樂館にて開演中なる平野に交涉する所あり速かに右の機械諸具を引渡し呉れと迫りたるが一方鎌田は既に澤より手附金として現金を領收し居り且つ正式なる契約を爲しあるを以て同人より仁川興行方が急がれ且つ同行技術員等に關する一切の費用として支出し居る事判明し是迄種々の費用を合せて約

▲一千圓餘を出さ　せしめ中山八五郎の驚き一方ならず直に同人より右の盜難屆を提出したるものと知れたるが右の活動寫眞機械は二臺あり他の一臺は本部に保存しあるを以て中山は更に上阪して之を引取るか或は中山敎會長を相手取りて損害賠償の民事訴訟を大阪裁判所に提起すべく致閙き居れりと

□朝鮮芝居

□長い袖を　無暗に振り廻して陳芬漢芬の事を申す譯の分からんものと心得てゐる、朝鮮に在る事五年ばかり、可なりの古狸だが幸か不幸か將又

□斯の道に　不熱心か未だ甞て觀た事がない、それでも始めて見るのなら却つて面白いから是非觀ないかと推して來られては逃げもならぬ仕儀、ナアニ何うにかなると度胸を据えた三日の夜鍾路の朝鮮人劇場へ

□團成社へ　行つて見ろ、東道の勞を執つてくれたのは朝鮮側の劇通、每日申報の趙一齋君、表がかりは日本の芝居小屋の樣にケバ〳〵しい

□飾りつけ　はなく、座名を表はした旗が二三旒寂しく立つてる丈である、一等三十錢、二等二十錢、三等十錢、軍人學生、小兒は半額と記した

□木戶口を　入れば大入場で下足と一緒で至極簡單なもの、役人替名といふ樣なものを臭れたのを見ると朝鮮新派幹部俳優

□藝星座劇　とある、藝題は活劇琵琶歌、之れを趙君に聞けば大倉桃郎の琵琶歌直譯だといふ、朝鮮固有の劇でも見せられるのかと思つたら琵琶歌とは大變なことになつた

□聊か怖毛　を振ひながら二階へ上がつて見ると新井三藏宅の場が張氏模家の場と改められて開いてゐる所、妓生の漾月と云ふのが里野で

□白い著物　を著た男が三藏風の色の周衣を著た黃鳳南といふのが武田貞次だと趙君が舞臺の役者に付いて說明する、成程然う聞いて見ると

□武田貞次　が里野を貰ひに來て、身分が違ふから差上げられぬ、釣合はぬは不緣の基だと特殊部落に籍を置く世を拗ねた三藏が嚴しく刎つけるらしい容子が

□その臺詞　の遣り取りの間に見える、何で東小門外の特殊部落に付いて誰かの話を聞いた時に覺えた白丁（穢多）といふ言葉丈がよく判る妓生の樣な里野が聞きとれぬ程の

□小さな聲　で何か言つてはシク〳〵泣いてる、その細い哀音が可なり悲しく響けるけれども見物人は喧ガチ〳〵笑つてる（つゞく）

◎兇賊と大格鬪

廿七日午前四時半慶南晉州飛鳳洞阿部某內緣の妻村上みさほ方の裏戶より一人の賊忍び入り店頭にありたる貨幣其の他の雜貨を窃取し居たる折柄表を通りかゝりたる內地人に發見され賊は慌いて裏口より逃げ出したるを主人が其の物音を聽き付けて目を覺し賊が裏の土塀を越えんとする處を足を捕へて引戾し組み付きたる折柄前の內地人が驅け付け四人にて賊を捕へんとせしに賊は懷より短刀を取り出し四人を相手に大格鬪を始め主人に輕傷を負はし四人が怯む所を見て遂に逃走したり一方急報に接し晉州署にては直ちに手配をなし搜索中の處廿九日に至り大安洞金商三方に潛伏中を探知し難無く逮捕したるが此の兇賊は晉州郡五石面五美里生れ金三石（二）と云ふ者なりと（晉州）

□今が桃の眞盛り　京城

京城の附近は昨今桃の花盛りとなつた東は東小門外から淸涼里附近、南は龍山鐵道官舍附近から三阪通り蓬萊町あたり皆一面の桃畑である殊に蓬萊町南大門驛の西側なる三巴商會醸造場附近は眼もあやなる滿開である、猶ほ此の外に桃の名所としては北門外洗劍亭附近の三溪洞があるがあのあたりは石徑斜なる邊昨今眼覺むる許の花盛り、秋の紅葉で有名な不破亭あたりも非常な美觀を呈して居る

◎聚古堂臨時入札會　佐々木聚古堂は業家の依賴を受け四日臨時入札會を爲す、……

◎故高積敎會長葬儀　故金光敎京城敎會長善積順藏氏の葬儀は三日午後……

◎京券藝妓運動會

京城券番にては三日の正午から漢陽公園で同券藝妓の春季運動會を催ふしスプーン競走、旗取競走などがあつて何れも子供に復つての大騷ぎ、その又天眞爛漫さを見ようと集まつて來た物好き連中が非常に多く中々盛んであつた

◎首の無い屍體

去月三十日午前五時頃全南木浦松島町スタンダード石油倉庫事務所の西南に接したる犬小屋の前に嬰兒の屍體が放棄しありしを同事務所員が發見したるが屆出に接し警官出張檢視を遂げたるに右屍體は頭部及び右手なく頸の付根に魚のつゝきたるが如き形跡あり全身蒼白色を呈し臍の緒五寸ばかりを殘し居たる由にて多分鮮人が死產の處置に困り海中に投じたるものなるべく屍體は其儘府廳に引渡し一方木浦警察署は犯人の搜索に從事せり

◎停電約一時間

三日午後三時四十分より六時過ぎに至るの間京城龍山市中の動力電氣停止せられたるが右は京城電氣會社發電所に於て發電調整機に故障を生じたるためにして發電所にては直ちに豫備機械の運轉を開始し應急送電を爲すと共に故障機の修理にかゝり二時間後には全く復舊するを得たが本社にては夕刊締切後印刷に取懸らんとせる際なりしを以て夕刊の刷出遲延し自然配達にも影響するに至れり

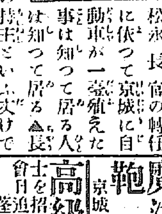
◎力士歸る、雷部屋の稽古
太刀山の元氣

一日から相撲月に入つた既に地方巡業から歸京した力士は八甲山、柏戶の一行と伊勢の濱、玉手山の一行然も太刀山、西の海、朝潮の一行と鳳、大錦の一行が歸京せぬため向ふ兩國の氣分はまだ全く相撲化してはゐぬが朝の內雷部屋を覗いてみると

△稽古好の新雷　が監督で玉手山、千年川などが夏場所の魁をしてゐる太刀山一行は目下作州巡業中で津山から倉根を經五月三日神戶に上陸する臺灣戾りの鳳一行と合併して來る四日から七日まで、京都で興行し一團となつて八九日に歸京の豫定國技館では八日から土俵を築き棧敷を設け本場所の準備に着手する、番附の發表が十日初日の十八日は今の處動かぬ事になつてゐるが

△場所前の故障　として分離巡業の問題と大阪合併角力給金直しに對する不參加組の不平とが勃發しさうに見えるので危んでゐる向もあるが太刀山一行は大阪の合併角力で非常な優勢を示し強いと認められた丈に到る處大入氣四國巡業中外れた所が一箇所も無いと云ふ成功であつた殊に

△松山は手相撲　を打つたのだが連日大入滿員で小屋は張り裂けんばかりだつたさうだ之に引代へ鳳一行の臺灣行は共進會の爲に揉みつぶされて或筋からの補助金で辛うじて神戶へ上陸する事が出來るの不景氣であつたとか、併し太刀一行の各力士が元氣の如く鳳、大錦を始め一行頗る元氣で潑溂たる稽古を積むでゐるさうだ（東京）



松永長官の轉任に依つて京城に自動車が一臺殖えた事は知つて居る人は知つて居る▲長官は單に自動車の持主といふ丈けでなく自らハンドルを取つて巧みに運轉する技倆を有つて居る事を知つて居る人は餘程少ない▲運轉が何れ位上手かといふことは此間京畿道廳で運轉手二十二號の免許狀を受けたのでも分る▲これから京城の近郊などで肥滿した紳士がハンドルを取つて居る十五號の自動車を見たらばそれは長官であるさうだ▲此間から京城附近の匿れたる桃の名所を紹介した所が「桃の名所はまだ〳〵ある一そのこと此頃の京城の周圍は桃の花で一大圓環を作つて居ると云ふ方がよい」といふ投書が來たが成程さうらしい▲果してさうとすれば七日の城壁廻りは疲れて桃見も出來る譯だ

……市內の旅館料理店等宿營業者一同を……察署前を通行中何思ひけん同署の門……に引致の上取調中なりと

◎泥醉して毆打す　京城堅志洞人中……る打撲傷を負はせたるより鍾路署に引致されたり

……て家出したるが滿洲に突走りたる形跡あり目下搜索中（大邱）

京日案內

普通（一回前金三十錢無割引 匿名一回毎に金五錢増）
番外（一回前金六十錢無割引 匿名一回毎に金五錢増）

普通

◎預け度し　四月生の男子乳の充分ある方に一ケ年間預けたし　本町壹丁目三參電話二六三六大正社　169

◎有給社員至急募集　▲明治公債支部　京城黃金町二丁目　170

◎諸病院又は患家の御需めに應ず　▲京釜看護婦會▼　旭町一丁目一參三　電話二八六三　171

◎尺八並に明笛著荷　京城本町（明治町筋）　野村書店　172

◎店員至急三名入用齡廿歲前後希望者は本人來談あれ　龍山鐵道構內　貴田屋雜貨店　173

◎有給社員募集希望者履歷携帶午前九時迄本人來談　シンガーミシン會社龍山分店　174

大阪義太夫稽古　五行　京城本町二電二五二七ツボヤ書店　158

京城　樂器　◎ヴァイオリン　◎マンドリン　勢山　店　157

◎店員入用　◎十五歲以上廿五歲迄　◎要保證人　商賣に經驗あるもの　香藥町二電話一五九〇小野タオル部　161

◎募集　賣藥行商滿洲行希望者は戶籍本身元證明書携帶上本人來談　南大門通五丁目岐阜屋方阿波井　152

◎外交員書籍特約募集に經驗有る者歩合多大希望者は履歷書携帶來談　櫻井町一丁目七三　國民敎育會支部　164

女中に雇はれたし　齡二十歲官舍又は社宅に見習として雇はれたし希望の御方は太平町二丁目一七九小川方へ

◎小供入用　年齡十四五歲にして健なる者入用希望者は至急直接來談　本町二丁目チチブ屋呉服店　146

◎外交員書籍豫約募集に經驗有る者歩合手當を給す希望者履歷書携帶來談を要す　京城齋昌洞一九六　新文社

◎古本なら野村　買入誠實御報參上　京城本町一丁目（明治町筋）電二六三六番　野村書店　142

番外

店員三名入用（得意廻）　十六歲以上廿五歲迄　◎要保證人　吉野町　岩城馨　商店食料雜貨部　168

魔法瓶中瓶取替　艶修繕一切　京城本町一丁目　高木旅行用具店　166

高級外交社員　として紳士を招聘す希望者履歷書を附し京城本町四丁目に來れ　追て通知す　蓬萊生命保險會社出張所

眼鏡專門　各眼病院用達　眼科　宮川大學堂　京城黃金町　振替京城……　160

東京中川式魔法マッチ　電池の強力他製品と比較を乞ふ　黃金町電話二九一八　口座京城……　川合商店

◎轉勤に付住宅急賣たし　京城府內地所附、官東向、價金四五拾圓　本町三丁目十三　山本　165

礦物定量分析　京城太平通二ノ一二五　坂元分析所　電話一三四四番

藥劑師　試驗制度發布せられたるに付受驗準備者は此期を逸せず直に入學あれ各級補缺者あり臨時入學を許可す　長谷通　朝鮮藥學講習所　143

自今三週間當院發毎日下仁の申込に限り本院規定の往診規則に據らす之に應じ候　同期間　京城北米倉町　京城婦人病院事務　電（四八二二）（四五二）（三三四二）　147

◎はねつき（うちみ）等　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場　150

鑛物分析　正確迅速　太平町二の二三〇　朝陽分析所　154

開城高麗人蔘　人蔘粉末廉價大賣出し　京城黃金町二丁目一九九番地　共濟堂大藥房　李性有　209

朝鮮名產　開城高麗人蔘及御菓子用人蔘尾　御入用の方は京城南大門通二丁目一番地藥房に御求あれ（電話二四四一番）　共和堂　107

ルーデサック　A十個四十錢　B十個六十錢　變形一個廿五錢女用一個八十錢以上一割引外に要送料郵券代用　京城黃金町三山田文殊堂藥房　116

女學講義錄　三妃殿下の台覽を辱ふする名學の新學期入會最好機　京城觀水洞大日本實修女學會支局　132

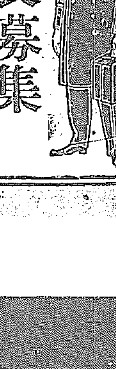
中學校の入學準備用として最好適　國民補習講義錄　中學科の最好機申込次第規則書進呈　入會　京城觀水洞大日本國民中學會支局　138

酒商　酒醬油は內地より直取引に限る早速申越あれ取調見本代三錢切手五枚要　兵庫濱崎　145

三國屋物品紹介所

年金恩給　退隱料で金融希望者へ其他諸公債券に對し低利輕便に數年分即時立替　京城永樂町一丁目　商品陳列館表門前　江州屋本店　148

恩給　年金低利長期立替短期無保險地方在住者不及上京便法あり但短期は特に御相談申上候　京城若草町　留馬南辻入　西村商會　149



支局　出張所　長募集　補缺の爲め臨時募集す希望者は京城本町四丁目の支局又は本舖に來談あれ書面の照會は謝絕す　大阪市西區立賣堀　日本一藥舖本舖

てんかん　……名古屋市中區南小川町　穀生堂

會葬御禮　故權少敎正善積順藏葬儀之節は態々御會葬被成下難有存候乍略儀以紙上御禮申上候　金光敎京城敎會所　金光敎々會管理所　親戚總代　嗣子　百合子　善積貞一

千生瓢 (203)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫 (三)

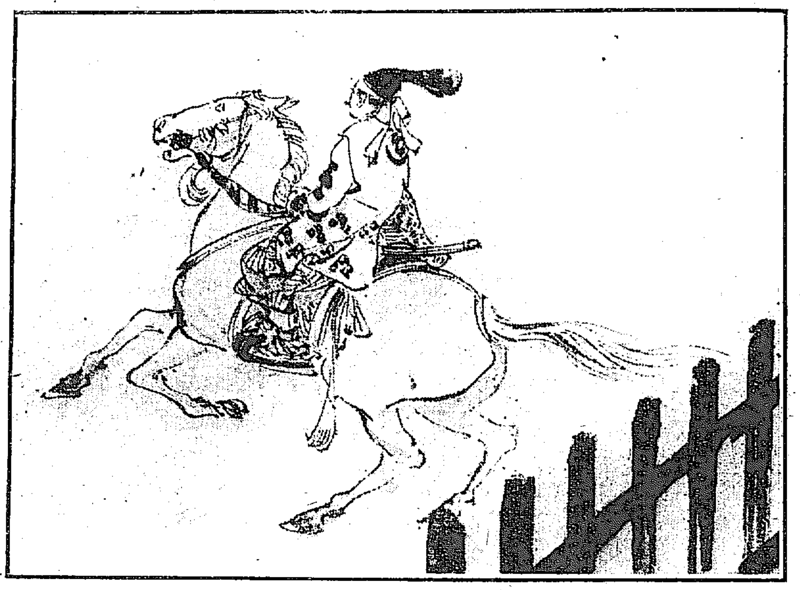
岳父の好意に感涙をとゞめあへず、さし俯向いて傾聽して居る武藏守、涙に光る面を擡げて、

『いかにも勝敗は運におざりまする。なれども、我等北畠殿に叛いて、筑前守殿に與力致した次第は、唯子孫の後榮を計ふ爲めばかりおざり申す。されば一旅の軍忠を抽で、厚き感賞に與らうと存ずる一心に於ては、何人も同樣の儀かと考へ申すに依つて、他人の足跡を踏まぬやう、我眞先に拔群の功を立て、鬼武藏が武勇の程を篤と筑前殿に知らせばやと、魁て羽黑へ陣を取つておざる。然るに朋軍初ての手合せに、事志と違ひて不覺を取つたる事、運とばかりは申されませぬ。總じて軍の勝敗は、矢合の第一線にある事、古よりの例とあつて、手合に心膽を碎くは、今も同じ將帥の苦心おざりまする。長可が猥がましく已が武勇を恃んで、不謹愼なる陣を布きたればこそやみ〳〵と敵に乘せられて、彼の如き敗北を取つたる儀おざりまする。斯かる恥辱を招いて、生る効なき命を保つて何を致さう、屍を馬革に裹むは、武夫の本懷、何卒目を驚かす勇戰して會稽の恥を雪がうと存ずる外、もはや一分の望みとてもおざりませぬ』

と、大息をついで陳べ立てる、聲の底に悽愴の氣の充實するのを覺えた。

勝入齋は莞爾と笑つて、

『入道とても其事は存じ居る。日來の氣質、彼の敗戰を知らず貌に過すをはよもあるまい。さすれば茲に天晴の手柄を顯はして、敗戰の恥辱を濯めぬに於ては、其許は必ず死ぬるであらう。さて好き戰機もがなと考へ居れど、大將軍の命なきに、戰ふことも叶はぬ今日、實は其故日夜に思慮を運らし居るのぢや』と、急に四邊に目を配つた。



『武藏守、近う參られい』

勝入齋は武藏守を近々と招き寄せて、膝前まして唇を耳に付けた。武藏守は身を固くして、その秘事を諦聽したのち、自から眉の昂るばかりに意氣組むだ。

『ふむ。すりや敵の空虛に狙ひ寄つて―』

『シッ、帷幕の謀を秘密々々、兎も角も此一議を以て筑前守を申し動し、中入の先鋒は我等に申し請ふ了見。此一議必勝の謀略と存ずるに依つて、其許の雪辱も急度相叶ふであらうわ』

『鈞慮を相苦め申したる段、長可何よりも難有く存じまする。御前體何分ともに宜きやう』

武藏守は稍生氣を恢復して、若い血が滿身に流れ渡つた。勝入齋も聟の元氣の芽を吹いたのを見て、大いに意を安んじた。

『是れとてもお互の爲ばかりではない、畢竟筑前守殿の爲め、上方勢の爲めぢや。我等とても數箇度の戰功、今は老功の古兵ぢや、無謀な軍を動して、見す〳〵敗を取る事は致さぬ。後刻我等が歸陣するまで、先づ〳〵緩かに休まれい』

『添けなうおざる』

誠しが一應打合つた處へ、申し次の番士が次の室へ手を突いた。

『何ぢや』

勝入齋は直に尋ねる。番士は低げた頭を徐に擡げて、

『只今村瀬作右衛門、森川權右衛門と申す者、御陣に推參仕り、大殿樣に直々拜謁致したいと、願ひ出ましておざりまする』と披露した。

『何、作右、權右の兩人が參つたと申すか。丁度好いわ。隨分密々に之へ通せ』

勝入齋は欣然として言ひ付けた。武藏守は奇異の思ひをして、

『作右衛門、權右衛門とは、何者おざる』と推問した。

『此は土地の郷士ぢや。この春日野郷の內、津村から西南三十三箇村を篠木庄と申す。また松河戶、中切外四箇村を柏竹庄と申す。孰れも小牧山の西南に在つて、彼處より三河の通路に當る。彼等はこの兩郷を支配する者おざる』

勝入齋は彼等の素性を語つて、陰に彼等が內應してゐることを、暗示するのであつた。

◎二葉會第四回俳句集拔萃

二十四年大正丙辰三月

題 試筆、如月、出代、鳥の巣、山吹

無二齋帝史宗匠撰

鳥の巣の下に立ちるけり太郎 蘿堂
書初に今年も寫す勅語かな 同人
日の御旗坊が試筆の林如たり 豊山
御家流は祖父が書たる試筆哉 午民
山吹の色や全たく黃金かな 豊山
山吹や人の寶は子にしかず 蘿蘿
如月や我待つものは京の花 京廼屋
出代の文を名殘の育薬かな 同人
鳥の巢や家のほしめの思はるゝ 同人
山吹や近道腳を偲ひけり 同人
据袖の重げに見ゆる試筆かな 蘿蘿
鳥の巢や嘴の裂さは思はれず 京廼屋
鷺の巣や見るも恐ろし握手似 午民
旅の記に梅の句多き二月かな 蘿蘿
出代や立つ鳥もあとは濁さゞる 京廼屋
樹の名を試筆にしたる村夫子 午民
山吹と身を果敢かる石女哉 蘿堂
瑞兆や御苑の松に鶴巢ふ 豊山
如月や地上三寸春動く 蘿堂
出代で見ればなつかし元の家 同人
如月や雨も降らぬに濁る川 午民
山吹のほろ〳〵と散る夜明哉 蘿蘿
患僕や出代らずして年老ぬ 午民
山吹の今尙匂ふ名歌かな 蘿堂

天地人 加

山吹やほつさ香に立つ實なし風 帝史

新刊紹介

△共進會實錄(洋裝全一冊) 朝鮮總督府の始政五年間に於ける進展發達の實蹟を網羅して百二十萬の觀覽者を誘致したる昨秋の共進會は朝鮮最近の一大史料たり然れども悤忙の間に一々對照熟覧の暇を得ず萬貨雲烟の如く眼に過ぎて後杳然として其の跡を際ぬるに由なきは一般の遺憾に堪へざる處なり編者は茲に見る所あり共進會の開會前及び閉會後に亘り此に關する細大の事項を漏なく精査し編纂に着手せし爾來幾多の苦心を經て今湖く出版世に公にするを得たり殆ど九百頁に近き形大なる冊子に三十一章の本文十章の附錄に加へて無數の插畫あり此に由りて共進會の面目眼前に彷彿し今更共進會を目睹するの感あるのみならず朝鮮の產業發展上に好個の參考資料となり卷頭には總督府政務總監の序文並に題字及び宇佐美內務部長官の序文は一層の光彩を放ちたり(編者酒井政之助 定價二圓)

▲臺灣殖民發達史(總論より結論に至る迄十五章菊版約五百頁統治組織、法制、軍備、理蕃、市街、人口の變遷、移民、產業、貿易、交通、通信、財政、專賣、敎化、衞生等詳細に涉りて論述せり卷頭に臺灣民政長官の序文あり中左の語あり曰く『其論ずる所必ずしも擧げて首肯すること能はずと雖も其叙述する處の事實に至りては完璧に近し』云々(一圓八十錢大阪丸善株式會社)

泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痳瘡 皮膚病 專門 入院隨意(診療夜九時迄) 永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話一九四一番

讀者の領分

花の時季となりましたがそろ〳〵市中へ撒水車を出しては如何がでせう南大門通等のほこりは一通りではありませんせつかく面白く花でも見て歸つて來たのはあのごみでは急に不快の感が起りますそれから道路の眞中へ痰を吐いたり紙片を捨てたりしてありますがあれを見て氣持のよい人がありませうか追々暖くなりますから注意せねばならぬと思ひます(衞生家k生)▲三井なる名詞を使用する人に答ふ羈よりとせし無記名の端書正に受領す君の行爲は斷じて恕す能はず何れ遠からず汚名が天下に現れん(ヤラレタ生)▲活動寫眞館の男女觀客席を區域せし境界の纖張は寧ろ撤廢を希望す強て之を存ずる必要あらば今一層堅牢の圍障を設け而して監督の警官は絶えず場內を巡視し以て男女互に其席に混入せざる樣取締の勵行を要す然らざれば目下の如き申譯的の一節の纖又は一本の捋木にては到底區域の目的を徹底せず嘗に目的を遂せざるのみならず之あるが爲め往々寫眞映寫中に茶子客間に論爭を惹起し他の客に迄妨害を及ぼすの嫌なしとせず而して其論爭の原因は常に觀客は始め入場の時のみ其客が夫婦若は親子なるに拘ず其處は女席です此處は男席だから犯されませんとイヤに鯱突を喰はしながら或る時期に至れば却て男席に女子を伴ひて強て男客に席を讓らせんとし又は女席に男客を誘引混坐せしめんと強ふる花り現に昨夜(廿八日)の如き今や映畫の佳境に入らんとする一刹那茶子は突如一婦人を拉し來りて席の既に充滿し居るに拘はらず余に同席を強ひたり餘りの橫暴に默し難く余は該茶子に對し此處は男席ならずやと一喝したるに茶子は不平だら〳〵隣席の或る男客を強ひ之れに讓席せしめて遂に該婦人を混坐せしめたる蹟例あり是を以て見るも如何に申譯的纖張の有害無益にして寧ろ撤廢の勝れるを證するに足らずや(風紀勵行希望生)

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ各日時ニ於テ競賣ニ附ス入札保證金ハ各自申出額ノ十分ノ一トス

◉京城府黃金町參丁目貳百七拾七番地 一垈六拾九坪 最低競賣價額金壹千參百八拾貳圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪四拾七坪參合七勺 最低競賣價額金參百五拾五圓也 右競賣申立人 富來祥 右不動產所有者 馬晟煥

◉京城府漢江通拾壹番地ノ內五四壹番戶 一木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪貳拾壹坪 附屬木造瓦葺平家建物置壹棟 建坪六坪 最低競賣價額金百六拾五圓也 右競賣申立人 上石キヨ 右不動產所有者 橋本米人

◉京城府明治町貳丁目貳拾壹番地 一垈四拾九坪 最低競賣價額金九百八拾七圓也 右競賣申立人 樋下田仙藏 右不動產所有者 伊藤友松

◉京城府蓮池洞五拾九番地 一垈參拾五坪 最低競賣價額金百五圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪拾四坪參合九勺 最低競賣價額金七拾貳圓也 右競賣申立人 李吉善 右不動產所有者 李昌德

◉京城府都染洞九拾七番地 一垈貳拾六坪 最低競賣價額金百八拾貳圓也 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾四坪貳合 最低競賣價額金參拾五圓也 右競賣申立人 李吉善 右不動產所有者 李象浩

◉京城府蓬萊町四丁目百四拾五番地 一垈參拾八坪 最低競賣價額金五拾參圓也 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾四坪七合五勺 最低競賣價額金貳拾九圓五錢也 右競賣申立人 金錫奎 右不動產所有者 金景植

◉京城府黃金町五丁目貳百五拾四番地 一垈七拾參坪 最低競賣價額金四百貳拾圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪貳拾五坪九合 附屬木造草葺平家建壹棟 建坪四坪七合五勺 最低競賣價額金八拾參圓五拾錢也 右競賣申立人 戶田長次 右不動產所有者 閔泳璘

◉京城府長谷川町五拾六番地 一垈貳拾九坪 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾五坪七合五勺 最低競賣價額金[illegible]

◉京城府蓬萊町四丁目貳百參拾四番地 一垈四拾參坪 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾九坪貳合五勺 最低競賣價額金[illegible] 右競賣申立人 李吉善 右不動產所有者 翟昌準

◉京城府蓬萊町四丁目貳百參拾貳番地 一垈百參拾四坪 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪參拾六坪貳合 同所 木造草葺平家建本家壹棟 建坪九坪七合參勺 最低競賣價額金[illegible]

◉[illegible] 一田六百四拾壹坪 最低競賣價額金貳百四拾參圓也 右競賣申立人 釘本藤次郎 右不動產所有者 井上貞傳

◉京城府仁寺洞貳百五拾番地 一垈貳拾坪 最低競賣價額金貳百圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪拾壹坪七合八勺五才 最低競賣價額金[illegible]

◉京城府芳山町六拾七番地 一垈[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 右競賣申立人 權重益 右不動產所有者 李熙昌

▲以上競賣期日ハ大正五年五月八日午前十時トス

◉京城府公平洞壹番地 一垈百八拾參坪 最低競賣價額金壹千五百圓也 右競賣申立人 東京建物株式會社 右不動產所有者 朴宗植

◉始興郡北面堂山里參百拾參番地 一田五拾六坪 最低競賣價額金六圓七拾五錢也 一同郡同面堂山里參百拾七番地 一田壹千四百九拾七坪 最低競賣價額金百[illegible] 右競賣申立人 [illegible] 右不動產所有者 [illegible]

◉京城府西小門町八拾四番地 一垈[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 右競賣申立人 [illegible] 右不動產所有者 [illegible]

◉京城府南大門通壹丁目貳拾番地 一垈四拾五坪 最低競賣價額金參百圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪四拾五坪[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 右競賣申立人 合資會社京城十八友 右不動產所有者 中川甚太郎

◉京城府[illegible] 一垈[illegible] 最低競賣價額金貳千五百七拾四圓也

◉京城府[illegible]洞[illegible] 一垈[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪四坪九合 附屬建物[illegible] 最低競賣價額金貳千七百四拾參圓也

◉京城府[illegible] 一垈[illegible] 最低競賣價額金[illegible] 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪八拾七坪[illegible] 附屬木造洋館[illegible] 建坪拾九坪八勺 最低競賣價額金五百八拾八圓也 右競賣申立人 株式會社漢城銀行 右不動產所有者 合名會社彰信社

◉京城府冷洞百六拾八番地 一垈四拾六坪 最低競賣價額金百八拾四圓也 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪拾六坪九勺 最低競賣價額金四拾八圓也 右競賣申立人 伊藤徹雄 右不動產所有者 金錫洙

◉京城府崇一洞七拾八番地ノ壹 一垈八百九拾壹坪 最低競賣價額金八百九拾壹圓也 地上ニ建設 木造草葺平家建本家壹棟 建坪九坪參合七勺 最低競賣價額金七拾九圓也 右競賣申立人 京城隆興株式會社 右不動產所有者 李明薰

◉京城府瑞麟洞百拾五番地 一垈六拾坪 最低競賣價額金九百圓也

◉京城府瑞麟洞百拾五番地ノ一 一垈貳百六拾壹坪 最低競賣價額金參千九百拾五圓也 右貳筆ノ地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪百五拾四坪壹合 最低競賣價額金壹千貳百參拾參圓也 右競賣申立人 朝鮮實業株式會社 右不動產所有者 李容世

◉京城府清雲洞[illegible]番地 一田五百六拾五坪 最低競賣價額金貳百貳拾六圓也

◉京城府清雲洞五拾五番地 一垈壹千四百貳拾五坪 最低競賣價額金七百拾參圓也 地上ニ建設 木造瓦葺平家建本家壹棟 建坪參拾貳坪貳合六勺 附屬木造草葺平家建壹棟 建坪七坪五合八勺 最低競賣價額金百七拾六圓也 右競賣申立人 石橋久太郎 右不動產所有者 姜友三

▲以上競賣期日ハ大正五年五月十二日午前十時トス

エンパイヤ號

屢々高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車

御大典記念特製品(名古屋岡本製作所製品)

エンパイヤ號自轉車

品質優良二大製品

純英國製 鐘馗タイヤー

日本製 優等品 カクダイタイヤー

發賣元 直輸入商 鈴鹿商店自轉車部 京都本店

朝鮮總代理店 朝鮮京城明治町一丁目 瀧川銃砲自轉車店 電話三〇二番

內科 小兒科 皮膚病 花柳病 入院隨意

京城日出小學校前 多々見醫院 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

新案特許 淋病氣熱治療器

淋病は四十度の熱を加へて其黴菌を完全に殺せば全治し再發せざる事は今や醫學界に確認せらる本器は此理により發明せる熱氣治療器にて既に學理により確實に効力を認めらるも更に社會的幾多患者の實地に試驗して豫期以上の効果を報告せられ効力卓越なるを確信して發賣するものにて何人も自宅にて安全に且快速に淋病を治療するを得る最も進步せる療法也內服藥や洗滌等にて効なき人も速に試みよ詳細說明書ハガキにて申込次第進呈す但密送は切手六錢封入あれ

○東京市下谷區中根岸町八十一番地○ 日本體育商會

月やくを通し子宮病を快治す

月經不通を快く通じ

月經不順を快く調へ

月經困難を快く治す

圖月々經水の日定まらず或は多きに過ぎ、不同の人、又は經時其前後に異情あり腰又は子宮部に疼痛或は痙攣ある人其他月經不順、月經不通より起る症○逆上強く頭痛めまひ○目かすみ耳鳴り胸苦ぶり○食物進まず氣分鬱ぎ腰・下腹に痛ある諸症に特効あり常に持藥させば月經の異動を調へ惡血を下し、便通を心よくし、子宮病に罹る憂なし。

價 半週分貳十五錢 一週五十錢 二週壹圓 三週一圓四十錢

本舖 大阪東京 丹平商會藥房

賣捌は全國到る處の藥店にあり

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行
相模丸 五月五日 正午出帆
高砂丸 五月十一日 正午出帆
三河丸 五月廿三日 正午出帆

仁川海岸通一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
大正丸 五月 日 後四時出帆
大有丸 五月十二日 後五時出帆
神代丸 五月五日 後五時出帆
秀吉丸 五月九日 後五時出帆
君が代丸 五月 日 後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話百十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外國航路の船は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
安東丸 五月十日 午後五時出帆
汕頭丸 五月八日
須磨丸 五月十四日

○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 五月六日 後二時出帆
信濃川丸 五月廿四日 後二時出帆

○鎭南浦、大連行
信濃川丸 五月六日 後二時出帆
信濃川丸 五月廿四日 後二時出帆

○大連直行
福州丸 五月廿六日 後二時出帆
潮州丸 五月十二日 正午出帆

△浦鹽、釜山、關門、神戶、大阪行
須磨丸 五月 日 午後二時出帆

○群山、釜山、橫濱行
潮州丸 五月十六日
福州丸 五月三十日 午後二時出帆

○清津、浦潮行(元山出帆)
印ハ城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
宮島丸 五月十八日
平安丸 五月五日 午後二時出帆

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
湖北丸 五月五日
基隆丸 五月十五日 前十時出帆

御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との連絡切符發賣仕候 ○御乘船の際は本船仁川碇泊約一時間前御乘船相成度候 ○×印は一部客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二番 二二〇番 五五〇番

京城切符發賣所 內國通運會社 電話七〇八番

△中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間割引を以て連絡乘船切符發賣致候

日本郵船 阿波共同汽船 etc.

汽船釜山出帆廣告

立神丸 ○門司、神戶、大阪行 月 日 後五時出帆
立神丸 ○元山、清津、浦鹽行 月 日 後十時出帆
小倉丸 ○門司、神戶、大阪行 月 日 後五時出帆
小倉丸 ○元山、城津、浦鹽行 五月 日 後十時出帆
第三琴平丸 ○元山、西湖、新浦、城津、清津行 五月 日 後六時出帆
第三琴平丸 ○門司、宇品、神戶、大阪行 五月 日 後六時出帆
天兵丸 ○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆

釜山港埠立新町 木船取扱店 大池回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 京城 電話長一九五三番 三三三番

支店・出張所・代理店・荷客取扱店に御照會願ふ 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長二七〇)

全羅丸 五月十二日 釜山發
京畿丸 五月十一日 釜山發
京城丸 五月十六日 釜山發
咸鏡丸 五月十六日 釜山發 (神戶より釜山各港寄港雄基行)
穩城丸 五月三日 元山發
吉平丸 五月十一日 元山發
鏡城丸 五月七日 元山發 (元山より各港經由雄基行)
忠清丸 五月十六日 元山發
永興丸 每月廿八回 元山發
金剛丸 五月 日 釜山發
江原丸 五月 日 釜山發
慶興丸 每日 (釜山)浦項發
三浦丸 五月五日 釜山發 長承浦、巨文島、濟州島各港行
統營丸 海州丸 巨濟丸 寶丸 每日 釜山發 各港經由
順天丸 三日目每 木浦發 各港經由麗水行
慶興丸 五月四日 木浦發 各港經由濟州島行(西廻)
公州丸 五月四日 木浦發 南鮮島海岸行(月三回)
公州丸 五月八日 木浦發 各港經由濟州島行(東廻)
宗信丸 五月六日 仁川發 海州、鎭南浦、龍湖又は白翎島行
江原丸 月 日 仁川發 西海岸、大連、芝罘行
飛州丸 五月十一日 仁川發
錦江丸 南陽丸 五月六日 仁川發 各港經由
平安丸 五月十六日 群山發
若松丸 每日午前 群山發 復航門司 大黑山、木浦、門司、若松行

阿波共同汽船仁川出帆

第八共同丸 芝罘、大連行 五月 日入港 日前九時出港
第一阿波丸 城津、清津、浦鹽行(元山出帆) 月 日入港 日後九時出港
西湖津沿岸各港を經て雄基行 月 日入港 日前八時出帆

(元山出帆) 阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

商況

大阪三品 三日後場 五月限 一三二·〇 一三二·〇〇 九月限 一三二·九〇 一三三·〇〇 十月限 一三三·〇〇 一三三·八〇

大阪株式特電 新鐘紡 一三八·〇〇 同上新株 一〇五·〇〇 東洋紡 一二三·八〇 大阪商船 [illegible] 日本郵船 一九六·〇〇

下關期米特電 後場當限寄付十三圓九十七錢 △中限寄付十四圓四十九錢 △先限寄付十四圓九十四錢

仁川米豆取引所 三日後場 大阪前止十五圓〇四錢 後場寄付十四圓九十九錢 [illegible] 一三、四五 一三、九六

▲變動未だし 受けて十一圓七十錢と寄付たる儘動かず六十九錢安値の七十一錢高値として保付きたり市場は我に開散にて其他買に對し其他より買り向ひたるに過ぎず [illegible]

▲現物界 段變る模樣なし ▲正米 通非玄米十圓二十五錢延安玄米九圓九十五錢忠清道地物十四圓四十錢より五十錢神力十五錢より九十錢等 [illegible]

後場寄付 正米 三日の七月限 十一圓七十 十二圓七十 十一圓七十二錢

五月限 三千四百石 六月限 三萬四千六百石 七月限 一萬三千四百石